# 選択制総合医学
# シ ラ バ ス

平成２９年度
第６学年

藤田保健衛生大学医学部

# 「選択制総合医学」

［教育目標］

５学年で臨床実習を終えた学生が、６学年の最初の６週間、学内、学外（国内／海外）を問わず、運営委員会が許可した多様な医療施設から実習先を自主的に選択し、責任をもって行動し、自ら医学に取り組み、自分の医師としての将来像を考える。

［学習目標］

クリニカルクラークシップの精神に則り、医療チームの一員として責任感と義務感を持って実習する。

［到達目標］

到達目標は、各実習施設において学生と教育担当者で決定する。

［評価］

出席状況、実習態度、医学知識を総合的に評価する。

［選択コースおよび実習施設］

このような教育目標を実現するため以下の４つの選択コースを設けている。

①運営委員会の認定した海外の病院、大学、研究所などにおける実習

②運営委員会の認定した本学以外の国内の病院・研究所などにおける実習

③本学医学部臨床系講座における実習

④基礎学力の充実を図るための基礎学力コース＜非選択＞

○主な平成２８年度学外実習施設（実習者数）

①海外実習（１３名）

②尾鷲総合病院（１名）

③順天堂大学（２名）

④藤田こころケアセンター（１名）

⑤総合大雄会病院（１名）

⑥大同病院（２名）

⑦江南厚生病院（１名）

⑧諏訪中央病院（２名）

⑨トヨタ記念病院（１名）

⑩名古屋医療センター（１名）

その他、長崎大学病院にて計２６名の学生が実習を行った。

なお、できるだけ学生が自主的に選択でき、多様な選択肢があることが望ましいが、一定のルールに則って公平な選択が行われる必要があるため、最終的な施設選択は運営委員会で決定する。

# 藤田保健衛生大学医学部学外教育関連施設に関する規程

施行 2003(H15)．1．15

（目的）

第１条　この規程は、藤田保健衛生大学（以下、本学という）医学部（以下、本学部という）の学生が本学以外の国内の病院、診療所、保健所又は老人保健施設等の施設でカリキュラムに基づき実習を行うことに関し、必要な事項を定めることを目的とする。

（学外教育関連施設）

第２条　前条の実習を行う施設は、本学部学外教育関連施設（以下、関連施設という）とし、医学部長の推薦に基づき学長が委嘱するものとする。

２．　関連施設は、学生の実習に必要な施設及び設備並びに指導者を有する施設とする。

３．　関連施設として委嘱する期間は、年度を超えないものとする。ただし、必要に応じて年度毎に更新することができる。

（学外実習担当講師）

第３条　学長は、医学部長の推薦に基づき関連施設において学生の実習指導に携わる者（その者が複数の場合は、当該実習指導の主たる責任者）に対し、本学部学外実習担当講師を委嘱するものとする。ただし、任期は当該年度内とし、更新することができる。

（申請手続）

第４条　医学部長は、当該年度の実習のため関連施設に新規に委嘱しようとする場合は、次の事項を記載した書類を作成して教授会及び学長を経て、理事長の許可を得なければならない。

(1)　当該施設の名称及び所在地

(2)　当該施設において学生の実習指導に携わる者の氏名及び略歴

(3)　当該施設において実習を行おうとする授業科目名及び実習の期間

(4)　その他必要な事項

２．　関連施設更新の手続きは、前項に準じて行わなければならない。

（変更の届出）

第５条　医学部長は、前条の申請内容に変更が生じた時は速やかに変更の内容を記載した書類を学長を経て理事長に報告しなければならない。

（実習の経費）

第６条　医学部長は関連施設における実習に要する経費については、当該関連施設と協議し、学長を経て理事長の許可を得なければならない。

（その他の事項）

第７条　本規程に定めるもののほか、関連施設に関する必要な事項は、当該関係者で適宜協議するものとする。

（規程の改正）

第８条　本規程の改正は教授会及び学長を経て、理事会の承認を得なければならない。

附　　則

１．この規程は、2003 年（平成 15 年）１月 15 日から施行する。

# 選択制総合医学 海外実習プログラム

**基本理念**

現在進行している医学教育の改革において最も強調されている点は、昔ながらの知識を伝えるだけの教育から、医学生自身が体験することを基本にした教育の重要性である。この様な考え方に従い、選択制総合医学（平成26年CM-Eより改名）が平成11年度より開始された。選択制総合医学は6週間にわたり、学内、学外及び海外での多様な臨床実習プログラムを学生が自ら選び、これまでに学んできた学習内容を踏まえて、医療分野の実際を体験することによって研鑽を深めるものである。中でも医学の国際化に対応するために、選択制総合医学海外実習プログラムが作られた。本海外実習プログラムは、異文化における先進の医療および研究現場を学生自身が実際に体験し、将来にわたってアクティブな学習、臨床研修、研究を行えるきっかけを提供することを目的としている。

**現在までの実績**（過去５年間）

| | | |
|---|---|---|
| 平成24年度 | Universita degli Studi di Milano-Bicocca (Italy) | 2名 |
| | Faculty of Medicine, Khon Kaen University (Thailand) | 2名 |
| | Boston Children’s Hospital (USA) | 2名 |
| | University of California San Francisco(USA) | 2名 |
| | Louisiana State University, LSU(USA) | 1名 |
| 平成25年度 | Universita degli Studi di Milano-Bicocca (Italy) | 3名 |
| | Faculty of Medicine, Khon Kaen University (Thailand) | 3名 |
| | Boston Children’s Hospital (USA) | 1名 |
| | National Taiwan University Hospital（Taiwan） | 1名 |
| 平成26年度 | Universita degli Studi di Milano-Bicocca (Italy) | 2名 |
| | Faculty of Medicine, Khon Kaen University (Thailand) | 3名 |
| | Boston Children’s Hospital (USA) | 1名 |
| | National Taiwan University Hospital（Taiwan） | 1名 |
| | School of Medicine, Gachon University(Korea) | 2名 |
| | School of Medicine, University of Zambia(Zambia) | 3名 |
| 平成27年度 | Universita degli Studi di Milano-Bicocca (Italy) | 2名 |
| | Faculty of Medicine, Khon Kaen University (Thailand) | 3名 |
| | Boston Children’s Hospital (USA) | 2名 |
| | National Taiwan University Hospital（Taiwan） | 1名 |
| | School of Medicine, University of Zambia(Zambia) | 3名 |
| 平成28年度 | Universita degli Studi di Milano-Bicocca (Italy) | 3名 |
| | Faculty of Medicine, Khon Kaen University (Thailand) | 2名 |
| | Boston Children’s Hospital (USA) | 1名 |
| | National Taiwan University Hospital（Taiwan） | 2名 |
| | School of Medicine, University of Zambia(Zambia) | 2名 |
| | School of Medicine, Gachon University(Korea) | 2名 |
| | School of Medicine, Griffith University(Australia) | 1名 |

## 応募規定

１．選択制総合医学海外実習を希望する学生は、9 月 5 日（月）までに選択制総合医学海外実習希望用紙を学務課に提出すること。選択制総合医学委員会及び教務委員会で所定の審査の上、選択制総合医学海外実習生を決定する。

２．派遣学生の審査基準

以下の 2 条件をクリアしていること。

英 語 力： TOEFL 50 点以上 (Internet-based)

学業成績： CBT(3 割)及び M5 総合試験Ⅰ(7 割)の総合順位が上位 70 位以内

３．但し、２．の英語力は基準に満たないが、海外実習を是非希望する学生の場合、教務委員会および教授会の承認を得て許可する場合がある。

４．選択制総合医学海外実習生として認められた後、成績不良のため 3 月末から 4 月初旬の合宿講義への参加の対象となった場合は、その合宿講義に必ず参加しなければならない。

## 選考手順

１．9 月 5 日（月）までに 選択制総合医学 海外実習希望用紙を Moodle からダウンロードし、記入の上医学部学務課に提出すること。

２．TOEFL を受験し 9 月 5 日（月）までに成績（郵送された成績表）を医学部学務課に提出すること。(それ以前に何回受験してもよく、最も良い成績を提出)

３．英語会話力判定

1) 9 月末日までに、選択制総合医学で海外実習を希望する学生は全員、必ず Plante Steeve 副委員長の英語力審査を受けること。(学務課が日程調整する。)

2) Plante Steeve 副委員長の英語力判定を受け、その評価を受けること。

3) その結果を、吉川委員長に報告すること。

４．12 月の教務委員会で選択制総合医学委員会からの諮問を受けて、最終的な選択制総合医学海外実習生を決定する。

## 海外保険

海外実習プログラムに参加する学生は、学園指定の海外保険に加入する（学園負担)。

なお、補助金の支給は、規定の上限金額から海外保険料を差し引いた金額内で補助する。

平成 29 年度 選択制総合医学の留意事項

平成 29 年度選択必修科目選択制総合医学を以下のとおり実施するので、選択にあたっての留意事項を厳守し希望コースを選択すること。

○選択制総合医学授業期間：平成 29 年４月３日（月）～５月 13 日（土）
○選択コース：　a)学内実習、b)学外(国内)実習、c)海外実習

**＜選択にあたっての留意事項＞**

① 11 月 4 日（金）までに Moodle を利用し希望実習先を入力すること。
② CBT 試験(3 割)及びＭ５総合試験 I(7 割)の総合順位が下位 30 名程度の者は、国家試験対策として基礎医学コースの選択となる。対象者は 9 月末日までに国家試験対策委員で決定する。
③ c)海外実習希望者は 11 月中旬に選考会を行うので、9 月 5 日（月）までに TOEFL の成績（郵送された成績表）を必ず提出すること。
④ b)学外実習希望者は、大学が提示した施設より選択すること。ただし、提示した施設以外であっても、各自が事前に交渉した結果、受け入れの承諾が得られた施設については実習としてもよいが、誰からどのように内諾を得ているのかを必ずコメント欄に明記すること。なお、運営委員会が実習施設として適当か否かは審査する。(適否の目安：<a>過去に選択制総合医学国内学外研修施設としての実績がある施設、<b>厚生労働省指定研修教育病院、<c>本学教授が推薦できる教育担当者が勤務する施設など)
内諾を得た後、実習先が変更となる等で学外施設に迷惑とならないように内諾を得る時期には注意すること。(特に基礎医学コース対象者の決定時期に気を付けること。)
⑤ 成績不良のため３月末から４月初旬の合宿講義への参加の対象となった場合は、その合宿講義に必ず参加しなければならない。
⑥ 選択用紙は第３希望まで入力すること。学内実習を希望する場合は希望講座を、学外実習の場合は学外施設名及び診療科を入力のこと。未入力や希望調査の提出が期日までにない場合は運営委員会で実習先を決定する。(平成 28 年度 選択制総合医学実習報告書を選択時の参考にするとよい。)
⑦ 実習施設の決定は 12 月中旬頃の予定です。決定後は変更を認めないので、充分考慮し入力すること。

**＜提出物について＞**

① 実習施設決定後、臨床実習に関する誓約書及び同意書を提出すること。
提出期限は、後日掲示するので確認すること。(提出先：医学部学務課)
誓約書は学務課で受け取ること。
② 選択制総合医学実習終了後、すみやかに選択制総合医学実習報告書を Moodle にて提出すること。報告書の提出は選択制総合医学での評価を受けるのに必修である。
提出期限　平成 29 年 5 月 22 日（月）
Moodle にて配信する指定フォーマット（Microsoft Excel）を使用し、指定する文字数の範囲内で報告書を作成すること。指定フォーマット以外での作成は認めない。保存するファイル名は学籍番号（半角）とし、報告書に記載する項目は以下の通りである。
(1)学籍番号と名前、(2)実習施設名、(3)実習内容＜実習期間に経験したり、行ったりした学習内容＞、(4)研修での問題点
なお、国外施設で実習を行った者は英語で作成すること。提出された報告書は、取り纏め、開示します。

＊　以下は学外実習者（海外実習含む）が行う事項

○御礼状の送付とコピーの提出

選択制総合医学の終了後速やかに、お世話になった施設の学外実習担当の先生または責任者に御礼状を書き送付すること。また、報告書を Moodle にて提出のうえ、御礼状のコピー（余白に学籍番号・氏名・実習施設名を記入のこと）を医学部学務課に提出すること。

選択制総合医学実習報告書は、学外実習施設へ送付される予定である。

○学外実習に係わる補助について【提出期限：平成 29 年８月 25 日（金）】

審査基準を満たした学外実習者に対して、以下の上限金額から海外保険料を差し引いた金額内で補助金を支給します。

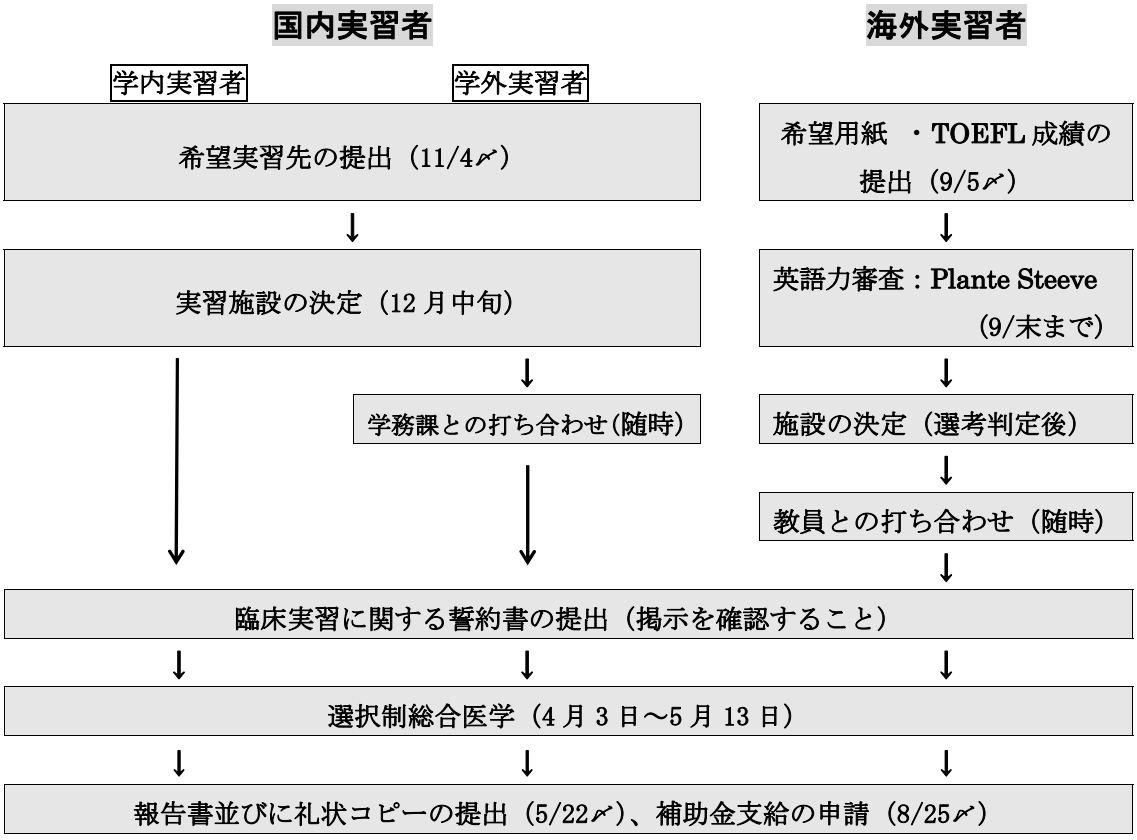
（海外実習者は提出した実習スケジュールに則って実習が完了したことを条件とする。）

・MOU※1 を締結した施設で実習する学生　　：３０万円を上限とする。
・海外実習の選考手順に則り実習する学生　　：１５万円を上限とする。
・国内のうち学外で実習し経費を要した学生※2　：　５万円を上限とする。

補助金支給の申請には、報告書及び領収書等の提出が必要となる。領収書を提出できない場合は、補助金が受けられないので必ず保管しておくこと。領収書には必ず日付・費目内容が記載されていること（旅費の場合には、旅行の日程及び旅行先）。航空機の場合にはチケットの半券を併せて提出すること。往復の旅費（公共交通機関に限る）、実習期間中の宿泊費及び医療過誤・実習先で加入した健康保険費等が補助金の対象となる。外貨の支払いでは、為替レートが分かるものを提出すること。

※１　MOU：MEMORANDUM OF UNDERSTANDING の略
タイ・コンケン大学、イタリア・ミラノ・ビコッカ大学、韓国・カチョン大学、台湾・国立台湾大学、ザンビア・ザンビア大学、アラブ・UAE 大学の 6 校である。

※２　但し、東海三県以外に限る




＜選択制総合医学の問い合わせ窓口＞　医学部学務課（0562-93-2634）太田まで

# 選択制総合医学選択コース希望調査について

平成 28 年度選択制総合医学の選択希望調査は“Moodle”にて実施します。下記の手順に従い、各自でノートパソコン等を利用し**学内 LAN に接続**したうえ期日まで登録してください。

注意）

・学外からはアクセスできません。学内 LAN に接続した環境からアクセスしてください。

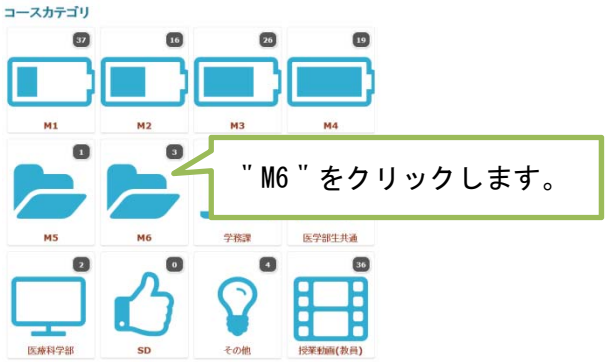
・締切日までは何度でも再提出可能です。その場合、一番最後に送信したデータが反映されます。

使用方法

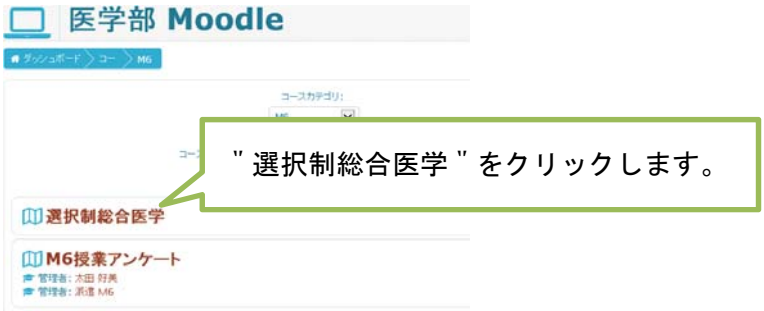
① 学内 LAN 環境につながったパソコン、スマートフォンから学生ポータルサイトを開き、
e ラーニングシステム“Moodle”にアクセスします。

アクセス QR コード
http://172.26.45.174/moodle/
に直接アクセスしても構いません。

② ＂M6＂に進みます。




③ ＂選択制総合医学＂に進みます。



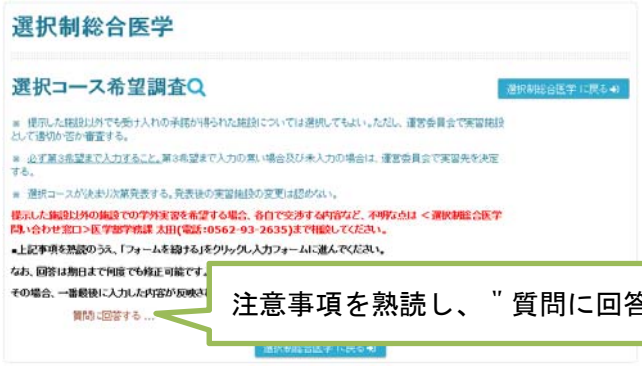
④ ユーザ名とパスワードを入力しログインします。

ユーザ名とパスワードを入力し、ログインします。

⑤ ＂選択制総合医学＂に進みます。

＂選択コース希望調査＂をクリックし、入力フォームに進みます。

⑥ フォーマットをダウンロードし、報告書を作成してください。




注意事項を熟読し、＂質問に回答する…＂をクリックします。

⑦ 指示に従い、希望を入力します。以後、画面の指示に従って入力を進めてください。

海外実習を選択した学生は、別途指定用紙とTOEFL の結果を学務課に提出する必要があります。入力時の指示に従い提出してください。

⑧ すべての入力が終了したら、回答を送信してください。以上で入力は完了です。

＂あなたの回答を送信する＂をクリックします。

# 選択制総合医学報告書の提出について

平成 28 年度選択制総合医学の報告書作成は“Moodle”を利用します。下記の手順に従い、各自でノートパソコン等を利用し**学内 LAN に接続**したうえ、期日までにレポートを作成し提出してください。

注意）

・学外からはアクセスできません。学内 LAN に接続した環境からアクセスしてください。

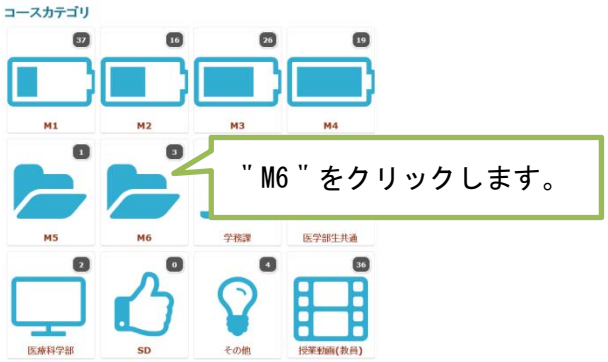
・締切日までは何度でも再提出可能です。その場合、一番最後に送信したデータが反映されます。

使用方法（ダウンロード編）

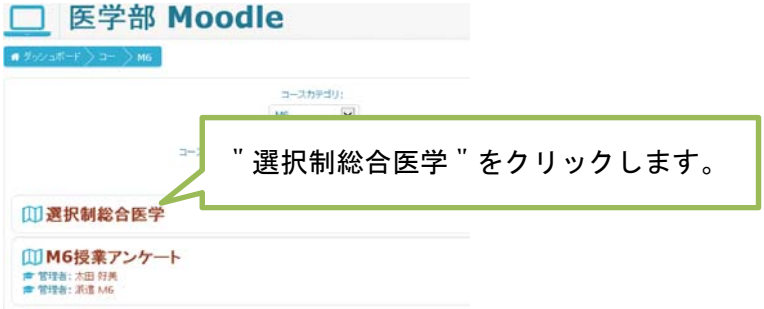
① 学内 LAN 環境につながったパソコン、スマートフォンから学生ポータルサイトを開き、
e ラーニングシステム“Moodle”にアクセスします。

アクセス QR コード
http://172.26.45.174/moodle/
に直接アクセスしても構いません。

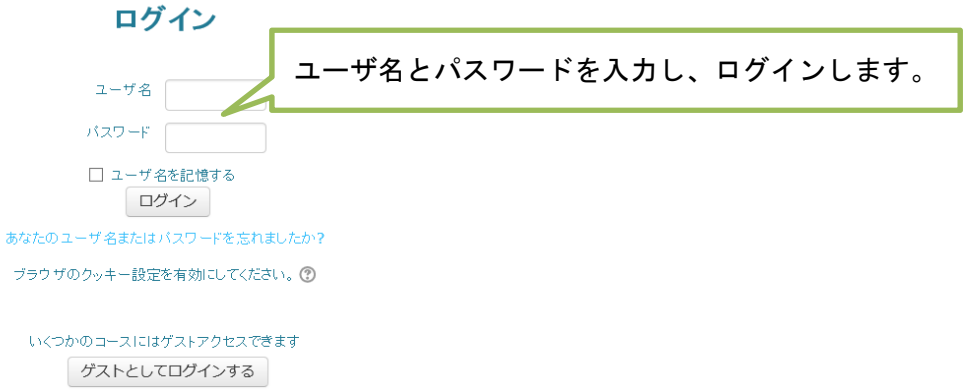
② ＂M6＂に進みます。



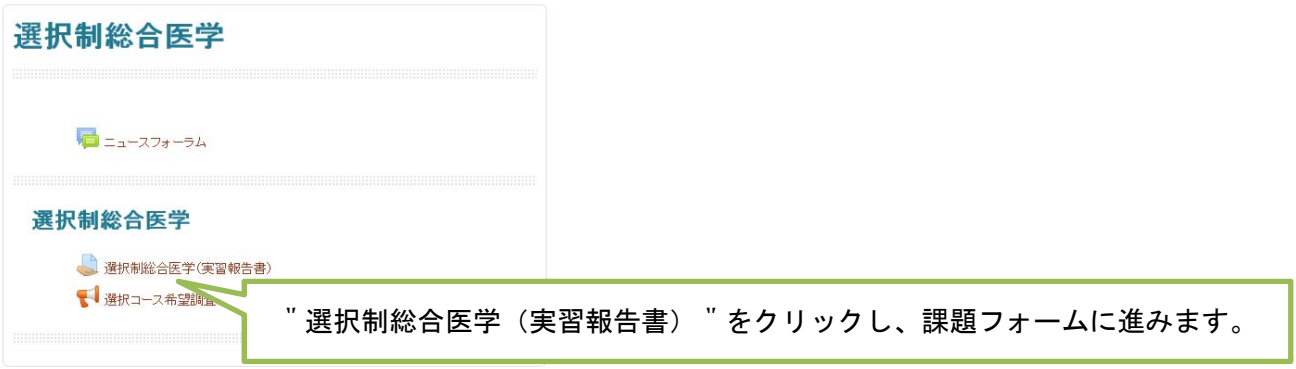

③ ＂選択制総合医学＂に進みます。



④ ユーザ名とパスワードを入力しログインします。




⑤ ＂選択制総合医学（実習報告書）＂に進みます。




⑥ フォーマットをダウンロードし、報告書を作成してください。

**報告書フォーマットはエクセルです。ダウンロード後はオフラインでも作成が可能です。**

使用方法（提出編）

※①～⑤同様

ダウンロードの時と同じように、Moodle にログインし選択制総合医学に進んでください。

① ＂課題を追加する＂に進みます。

＂課題を追加する＂をクリックし、提出フォームに進みます。

② 作成した課題ファイルをアップロードします。

作成したファイルをドラック＆ドロップします。

③ ファイルが表示されたことを確認し、保存します。

アップロードしたいファイルが表示されます。

＂変更を保存する＂をクリックします。

**エクセルのファイル名は、学籍番号としてください。**
**例：51015099.xlsx**

④ 課題提出を確認します。

アップロードしたファイルが表示されます。

期日まで、何度でも再提出することが可能です。

平成 29 年度選択制総合医学学外実習施設一覧

○施設の概要については、インターネットを利用しホームページで確認できます。
○国内施設は、比較的学生の希望する診療科で実習を行うことができます。
○宿泊が必要な場合は、各自で宿泊場所を探す必要があり、費用も自費です。
○自宅や下宿から通う場合は駐車場などの問題もあり公共交通機関を利用する。

| No. | 施　設　名 | 所在地等 |
|---|---|---|
| 1 | **愛知厚生連海南病院**：循環器内科 | 弥富市前ケ須町南本田 396 番地<br>定員：１名<br>駐車場利用：可<br>宿舎：有（但し、埋まる場合あり）<br>地域の基幹病院として心臓外科も標榜していますので、地域完結型で、循環器疾患の救急での初期治療から、ＰＣＩ、アブレーション、ＣＲＴＤなど専門的治療まで勉強できます。 |
| 2 | **一宮西病院：**麻酔科 | 一宮市開明字平 1 番地<br>定員：1 名<br>駐車場利用：可、宿舎：有（当直室）<br>一宮市の西部に位置し、地域の二次救急病院として 365 日、24 時間、患者受け入れを行っている病院です。心臓血管外科を含めた手術麻酔、全科対応の Closed ICU を担っており、現代の麻酔科医としてのすべてを経験できます。 |

| | | |
|---|---|---|
| 3 | **鵜飼リハビリテーション病院**：<br>リハビリテーション科 | 名古屋市中村区太閤通 4-1<br>定員：１名　駐車場利用：可　宿舎：無<br>リハ単科病院で回復期リハ病棟で総合的なリハを行っている。 |
| 4 | **岡崎市民病院**：腎臓内科 | 岡崎市高隆寺町五所合３−１<br>定員：１人<br>駐車場：可、宿舎：有<br>当院は救命を中心に全科 active に診療が行われている。高度急性期医療を目指しており、腎臓内科も様々な疾患に対応している。 |
| 5 | **小倉記念病院**：脳卒中センター | 福岡県北九州市小倉北区浅野 3-2-1<br>定員：2〜3 人<br>駐車場：不可、宿舎：無<br>九州のみならず、全国的にも優れた脳卒中診療の実績を有する。外科系、内科系の医師が境界なく脳卒中診療にあたり、急性期血行再建が活発に行われている。心臓病センターも全国有数の実績を有しており希望者は同センターでの研修も可能である。 |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | **尾鷲市立尾鷲総合病院**：<br>外科・内科・整形外科・眼科・<br>小児科・泌尿器科・皮膚科 | 三重県尾鷲市上野町 5-25<br>定員：２名<br>駐車場利用：可、宿舎：有<br>三重県東紀州地域の一次･二次救急を担っており、３６５日２４時間体制の患者受入施設です。実習期間に二次救急患者と連日接する事ができます。また、各科との横の繋がりは抜群によく、困った時はすぐ相談できます。この市立尾鷲総合病院で地域医療･高齢者医療を中心によりよい実習をして頂ければと思います。スタッフ一同お待ちしております。 |
| 7 | **神奈川県立こども医療センター**<br>：外科 | 横浜市南区六ツ川 2-138-4<br>定員：１名<br>駐車場利用：不可、宿舎：無<br>歴史のある小児専門施設。多くの症例を見ることができる。大学、市中病院とは異なる専門性の高い施設で研修できる。 |
| 8 | **蒲郡市民病院**：麻酔科 | 愛知県蒲郡市平田町向田 1-1<br>定員：１～２名<br>駐車場利用：可<br>地域における基幹的な役割を果たしている。 |
| 9 | **刈谷豊田総合病院** | 刈谷市住吉町 5-15<br>実習形態：診療参加型実習　定員：３名<br>駐車場利用：原則不可、宿舎：無 |

| | | |
|---|---|---|
| 10 | **輝山会記念病院：**<br>総合リハビリテーションセンター | 長野県飯田市毛賀 1707 番地<br>定員：１～２名　宿舎：有<br>駐車場利用：可<br>総合リハセンターでは、急性期から回復期･維持期までのリハ医療の充実をはかっています。回復期リハ病棟では、100 床を有し県下最大規模であります。医療､介護､在宅における全ての分野にリハスタッフを配置し､あらゆる角度から患者さまの社会復帰のサポートを行っています。当院では､大学病院ではみることのできない地域医療の勉強をすることができます。 |
| 11 | **久美愛厚生病院：**内科、外科 | 岐阜県高山市大新町 5-68<br>定員：２名（１期間に１科１名）　宿舎：有<br>地方都市にあり、地域の中隔病院としての役割をになっている。検診から診断、治療まで総合的に理解していただけると思います。 |
| 12 | **江南厚生病院こども医療センター：**<br>小児科 | 江南市高屋町大松原 137<br>定員：２名<br>駐車場利用：可、宿舎：有<br>尾張北部の小児医療を担っている病院で､一般小児科を中心に、予防接種、新生児医療などに力を入れています。非常に多くの多彩な症例を経験できます。また、本学卒業生が初期研修、後期研修医として活躍しています。 |

| | | |
|---|---|---|
| 13 | **公立西知多総合病院**：皮膚科 | 東海市中ノ池三丁目１番地の１<br>定員：1 名<br>駐車場：不可、宿舎：無<br>東海市民病院と知多市民病院が合併して、平成 27 年 5 月に開院した病院です。急性期医療を担う高機能な病院です。 |
| 14 | **公立西知多総合病院**：腎臓内科 | 東海市中ノ池三丁目１番地の１<br>定員：各期間ごとに１人<br>駐車場：可、宿舎：無（応相談）<br>東海市と知多市による公立病院です。東海市の南部、知多半島北西部の医療圏の中核病院として2015年5月に新規に設置されました。同地域の慢性腎臓病のほか、腎炎、その他の腎疾患に関連した複雑な病態の症例も多く診療しています。 |
| 15 | **公立西知多総合病院：**<br>集中治療部・麻酔科 | 東海市中ノ池三丁目１番地の１<br>定員：１人<br>駐車場：可、宿舎：有（当直室）<br>知多半島の基幹病院として平成２７年５月に新規オープンしました。手術麻酔だけでなく、全科対応の Closed ICU 管理、２～３次救急対応、病棟急変対応など幅広く経験できます。新しい病院で麻酔や救急・集中治療を学んでみませんか？ |

| | | |
|---|---|---|
| 16 | **公立西知多総合病院：**泌尿器科 | 東海市中ノ池三丁目 1 番地の 1<br>定員：１人<br>駐車場：可、宿舎：無<br>急性期から慢性疾患、内科的治療から手術まで多彩な実習が可能です。 |
| 17 | **公立西知多総合病院：**脳神経外科 | 東海市中ノ池三丁目 1 番地の 1<br>定員：1 名<br>駐車場：可、宿舎：無<br>知多市から東海市にかけての知多半島医療圏の北西部地域における中核病院であり、脳卒中、頭部外傷等、脳神経外科救急疾患を中心に診療を行っています。 |
| 18 | **国立がん研究センター東病院**：<br>乳腺・腫瘍内科 | 千葉県柏市柏の葉 6-5-1<br>定員：若干名<br>駐車場利用：不可、宿舎：無<br>最新かつ最善の医療の提供、がんの病態解明と治療開発に向けた先端的な研究、根拠に基づくがん医療の実践を通じた医療者を養成しています。乳腺腫瘍内科は臓器横断的な内科的治療を行う科として診療および研究、教育を行っています。 |

| | | |
|---|---|---|
| 19 | **国立循環器病研究センター：**<br>脳神経外科 | 大阪府吹田市藤白台 5-7-1<br>定員：2～3 人<br>駐車場：不可、宿舎：無<br>脳血管・心血管の診療、研究のナショナルセンターです。脳神経外科では microsurgery、血管内治療を駆使し、治療困難な脳血管疾患の診療が行われています。全国の大学から専攻医を受け入れており、学生の見学、研修も積極的に受け入れています。 |
| 20 | **国立長寿医療研究センター：**<br>機能回復診療部（リハビリテーション科） | 大府市森岡町源吾 35<br>定員：１名　駐車場利用：可　宿舎：無<br>高齢者医療の提供･研究を目的として設立された National Center であり、リハ科は昨年 10 月に開設されている。学部学生および研修医の実習・教育には定評がある。 |
| 21 | **社会保険中京病院** | 名古屋市南区三条 1-1-10<br>実習形態：診療参加型実習<br>駐車場利用：不可<br>定員：１期間に１科１名　宿舎：無 |
| 22 | **順天堂大学医学部附属順天堂医院：**<br>小児外科 | 東京都文京区本郷 3-1-3<br>定員：３名<br>新生児、小児一般外科、小児泌尿器生殖器疾患を広く扱っている。また、全国に先がけ積極的に鏡視下手術に取り組んでおり症例も多い。 |

| | | |
|---|---|---|
| 23 | **諏訪中央病院**：内科総合診療部 | 長野県芳野市玉川 4300 番地<br>定員：１名<br>駐車場利用：可、宿舎：有<br>非常に優れた内科／外科指導医のいる病院です。モチベーションの高い研修医が全国から集まります。 |
| 24 | **総合青山病院**：外科・内科 | 豊川市小坂井町道地 100 番地 1<br>定員：１名<br>駐車場利用：可、宿舎：有<br>豊川市の地域医療を行う中規模の総合病院です。急性期病棟、回復期リハ病棟、慢性期病棟があり、健診センターを併設しています。藤田保健衛生大学ＯＢが多数勤務しています。 |
| 25 | **大同病院：**消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科、血液・化学療法科、小児科、産婦人科、麻酔科、外科、呼吸器・血管外科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、眼科 | 名古屋市南区白水町 9 番地<br>定員：１期間に複数科で可能。１科１名<br>駐車場利用：可<br>宿舎：無<br>当院は 1939 年に設立され、70 年以上にわたり地域医療への貢献を第一として運営しており、「24 時間、365 日」断らない医療を目指しています。各科とも診断から治療まで総合的に実習していただけます。 |
| 26 | **知多厚生病院：**<br>耳鼻咽喉科・内科・小児科・外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科 | 知多郡美浜町大字河和字西谷 81-6<br>実習形態：診療参加型実習<br>定員：各科２名<br>宿舎：有　駐車場利用：可 |

| | | |
|---|---|---|
| 27 | **知多厚生病院：**麻酔科 | 知多郡美浜町大字河和字西谷 81-6<br>定員：１名<br>宿舎：有　駐車場利用：可<br>知多半島南部の地域医療、急性期・救急医療の拠点病院、離島診療も行っています。<br>2016 年 4 月より、麻酔科常勤医が赴任し、手術麻酔を中心に救急外来にて一次救急患者の初期治療にも携わっています。 |
| 28 | **津島市民病院**：皮膚科 | 津島市橘町３丁目７３番地<br>定員:1 名<br>駐車場：可、宿舎:有<br>津島市の基幹病院として地域に根ざした皮膚科診療を実習可能です。 |
| 29 | **常滑市民病院**：腎臓内科 | 常滑市鯉江本町４丁目５<br>定員：3 名<br>駐車場：可、宿舎：無<br>病院は常滑ニュータウンの中の標高 30 メートルの高台にあり、免震構造になっており、遠からずおこると言われている地震や津波などの災害時にも医療を継続できます。そして、小さいからこそできる「コミュニケーション日本一の病院」の実現が新病院の基本理念です。新病院は、決して大病院ではありませんが、中規模だからこそできる小回りの効いた温かみのある、コミュニケーション日本一の病院を目指しています。 |

| | | |
|---|---|---|
| 30 | **豊川市民病院**：小児科 | 豊川市八幡町野路 23<br>定員：２名<br>駐車場利用：可、宿舎：有<br>東三河の小児医療を担っている病院で、一般小児科を中心に、小児アレルギー、小児腎臓病、予防接種、小児循環器、新生児医療などに特に力を入れています。小児救急も充実していて１次～３次救急まで幅広くたくさんの症例を経験できます。小児科（６名）、眼科（２名）、形成外科（２名）は藤田保健衛生大学の各医局から常勤医師が派遣されています。また初期研修医、後期研修医として卒業生が活躍しています。 |
| 31 | **豊川市民病院：**麻酔科 | 豊川市八幡町野路 23<br>定員：1 名<br>駐車場利用：可　宿舎：有<br>平成 25 年 5 月に現在地に移転した、約 6000 台/年の救急車を受け入れる東三河の急性期中核病院です。2 名の麻酔科医が手術麻酔を中心に働いており、未設の心臓血管外科以外の症例を経験できます。 |

| | | |
|---|---|---|
| 32 | **トヨタ記念病院**：精神科 | 豊田市平和町１丁目１番地<br>定員：１名　宿舎：無<br>一般市中総合病院での精神科医療の実習が可能。精神科は本学出身の常勤指導医 2 名に加えて 3 名の臨床心理士が常勤しており、外来診療に加えて他科とのリエンゾン・コンサルテーション、緩和ケア、救急対応など幅広く経験できる。 |
| 33 | **トヨタ記念病院：**循環器科 | 豊田市平和町１丁目１番地<br>定員：１名　駐車場利用：可　宿舎：有<br>虚血性心疾患や不整脈に対するカテーテル治療を積極的に行っている。また、集中治療室における重症心不全管理も同様に積極的に行っている。上級医およびレジデントがチームを作り協力して治療にあたっており、チームに参加し充実した実習をおくることができる。 |
| 34 | **トヨタ記念病院**：腎・膠原病内科 | 豊田市平和町１丁目１<br>定員：1 名（後半のみ）<br>駐車場：可、宿舎：有<br>当院はトヨタ自動車の企業病院として開設され、地域の基幹病院として診療体制が整っています。最近、初期研修の希望者が増えていて優秀な研修医が集まってきています。腎疾患、膠原病の診療は 4 人のスタッフと研修医で行っています。 |

| | | |
|---|---|---|
| 35 | **トヨタ記念病院**：脳神経外科 | 豊田市平和町１丁目１<br>定員：1 名<br>駐車場：可、宿舎：無<br>脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍といった脳神経外科領域の主要疾患をまんべんなく診療し、手術数も豊富です。 |
| 36 | **中津川市民病院：**泌尿器科 | 岐阜県中津川市駒場 1522-1<br>定員：１名<br>駐車場利用：可　宿舎：有（応相談）<br>岐阜県中濃における基幹病院であり、救急医療･急性疾患から慢性期まで幅広くカバーする。<br>希望によって他科の実習も可。 |
| 37 | **名古屋医療センター：**血液内科 | 名古屋市中区三の丸 4 丁目 1 番 1 号<br>定員：１名　原則公共交通機関で<br>血液内科研究センター併設 |
| 38 | **名古屋記念病院** | 名古屋市天白区平針 4-305<br>定員：1名　宿舎：無 |
| 39 | **名古屋セントラル病院**：放射線科 | 愛知県名古屋市中村区太閤三丁目 7 番 7 号<br>定員：１～２名<br>駐車場利用：不可、宿舎：無<br>画像診断ではすべての PET/CT、CT、MRI、人間ドック胃透視、マンモグラフィーなど毎日 100～120 件を読影しています。放射線治療は毎週木曜日午前、大学から伊藤先生に来てもらっています。中規模市中病院に勤める放射線医の日常を体験できます。（常勤医師 2 名） |

| | | |
|---|---|---|
| 40 | **日進おりど病院**：<br>内科、外科、整形外科、循環器内科他 | 日進市折戸町西田面 110<br>定員：１名<br>駐車場利用：可、宿舎：無<br>・一般病床とともに亜急性病床併設<br>・予防医学推進研究センター（ドック・検診）併設<br>・在宅医療センター（訪問診療等）併設<br>・愛知人工関節センター |
| 41 | **半田市立半田病院**：心臓外科 | 半田市東洋町 2- 29<br>定員：１期間１名<br>駐車場利用：不可、宿舎：無<br>知多半島の中核病院で 499 床。3 次救急にも対応しており、多数の疾患を経験できる。 |
| 42 | **広島市民病院**：小児外科 | 広島市中区基町 7-33<br>定員：１名<br>駐車場利用：不可、宿舎：無<br>広島市の中心部にある総合病院の中の小児外科。新生児をはじめ、小児外科特有な疾患から、一般的な疾患まで幅広く研修できる。 |
| 43 | **藤田こころケアセンター**：精神科 | 愛知県豊明市栄町南舘 3-879<br>定員：２名　駐車場利用：可　宿舎：無<br>急性期を中心とした精神科専門病院での実習が可能。多くの常勤医は理事長以下本学出身の指導医が多数おり指導体制は厚い。急性精神病や各依存症、重度認知症など大学病院では経験できない専門病院での医療が経験できる。 |

| | | |
|---|---|---|
| 44 | **碧南市民病院：**循環器内科 | 愛知県碧南市平和町 3 丁目 6 番地<br>定員：１名　駐車場利用：可　宿舎：無<br>循環器疾患全般を対象として、検査および治療を行っています。 |
| 45 | **北信総合病院**：放射線科 | 長野県中野市西 1-5-63<br>定員：１～２名<br>駐車場利用：可、宿舎：有<br>長野県北部で志賀高原の近くに位置しています。北信地域の基幹病院として高度医療、救急医療、健康管理活動における中心的役割を果たしています。温泉、果物、野菜、きのこ、山歩き、スキー、スノーボードなど、自然に恵まれています。 |
| 46 | **松波総合病院** | 岐阜県羽島郡笠松町田代 185-1<br>実習形態：診療参加型実習<br>宿舎：無　駐車場利用：可 |
| 47 | **三重大学協力病院**<br>① 紀南病院<br>② 尾鷲総合病院<br>③ 三重県立志摩病院<br>④ 一志病院 | ①三重県南牟婁郡御浜町阿田和4750<br>②三重県尾鷲市上野町5-25<br>③三重県志摩市阿児町鵜方1257<br>④三重県津市白山町南家城616<br>定員：各施設１～２名<br>駐車場利用:それぞれの病院により異なる<br>宿舎：それぞれの病院により異なる<br>へき地医療を学ぶことができる。<br>三重大学医学部との協定に基づき実施され、三重大学医学部の学生（６年生）と協力しながら学ぶことができる。 |

| | | |
|---|---|---|
| 48 | **名鉄病院：**放射線科 | 名古屋市西区栄生 2-26-11<br>定員：１～２名<br>駐車場利用：不可　宿舎：無<br>放射線診断では、毎日の読影 50～60 件。月 2～3 例の IVR。治療は毎週水曜日、大学から伊藤先生に来てもらっています。中規模の市中病院に勤める放射線医の日常を体験できます。 |
| 49 | **淀川キリスト教病院**：腫瘍内科 | 大阪市東淀川区柴島 1-7-50<br>定員：1 期間 1 名<br>駐車場利用：不可　、宿舎：無<br>「全人医療」を実践し、高度であたたかな医療を提供している病院です。腫瘍内科は臓器横断的ながん診療を地域の中核病院で実践しています。 |
| 50 | **Boston Children's Hospital,USA** | 小児心臓病学のNewburger教授（女性）にお願いしています。過去５年間毎年選択制総合医学学生がお世話になっており、臨床の現場である病棟で見学したり、カンファレンスに参加したりして過ごします。交渉により一定期間ＭＧＨの見学も可能です。<br>（循環器内科学Ⅰ：尾崎教授） |

| | | |
|---|---|---|
| 51 | **National Taiwan University, College of Medicine** | MOU 締結校<br>定員：１～２名、宿舎：有<br>病床数 3,500 床以上の台湾で最大の医学部大学病院<br>年間 100 人以上の海外の医学部生（アメリカ合衆国・ヨーロッパ・アジア）の clinical rotation を受け入れている。6 週間の滞在中に約 10～15 人くらいの同様の海外の医学部生と一緒に勉強する。<br>詳細につきましては腎内科学:湯澤教授までお問い合わせ下さい。 |
| 52 | **Università degli Studi di Milano-Bicocca, Italy** | MOU 締結校<br>詳細につきましては、脳神経内科学：武藤教授にお問い合わせください。 |
| 53 | **Faculty of Medicine, Khon Kaen University, Thailand** | MOU締結校<br>詳細につきましては、臨床総合医学：大槻教授にお問い合わせください。 |
| 54 | **School of Medicine, Gachon University, Korea** | MOU締結校<br>詳細につきましては、生理学Ⅰ：長崎教授にお問い合わせください。 |
| 55 | **University of Zambia School of Medicine, Zambia** | MOU締結校<br>詳細につきましては、小児科学：吉川哲史教授にお問い合わせください。 |
| 56 | **United Arab Emirates University** | MOU締結校<br>詳細につきましては、内分泌・代謝内科学鈴木教授（又は国際交流推進センター　神谷）にお問い合わせください。<br>[大学ＨＰ]<br>http://www.cmhs.uaeu.ac.ae/en/ |

# 平成２８年度　選択制総合医学　選択コース

※選択者数は学生１名（６週間）＝１、学生１名（４週間）＝0.6、学生１名（３週間）＝0.5、学生１名（２週間）＝0.4で計算されています。

| 選択コース | 選択者数 |
|---|---|
| 循環器内科学Ⅰ | 4.8 |
| 呼吸器内科学Ⅰ | 0.5 |
| 血液内科学 | 2 |
| 肝胆膵内科学 | 5.5 |
| 消化管内科学 | 0.5 |
| 内分泌・代謝内科学 | 4 |
| リウマチ・感染症内科学 | 1 |
| 脳神経内科学 | 2 |
| 腎内科学 | 2 |
| 救急総合内科 | 3.9 |
| 臨床腫瘍科 | 0.5 |
| 循環器内科学Ⅱ（第２） | 2 |
| 呼吸器内科学Ⅱ（第２） | 1.5 |
| 消化器内科学（第２） | 0.5 |
| 神経内科（第２） | 1 |
| 精神神経科学 | 10 |
| 小児科学 | 1 |
| 皮膚科学 | 0.5 |
| 放射線医学 | 4.5 |
| 放射線腫瘍科 | 0.5 |
| 上部消化管外科学 | 1.5 |
| 外科・緩和医療学（第１） | 0.5 |
| 内分泌外科 | 0.4 |
| 整形外科学 | 2 |
| 形成外科学 | 0.5 |
| 産婦人科学 | 0.5 |
| 眼科学 | 3 |
| 麻酔・疼痛制御学（第２） | 1.5 |
| 眼科（第２） | 2 |
| 耳鼻咽喉科学Ⅱ（第２） | 0.5 |
| 災害・外傷外科 | 1.5 |
| 七栗記念病院 | 0.5 |

| 選択コース | 選択者数 |
|---|---|
| 長崎大学病院 | 1 |
| 尾鷲総合病院 | 0.5 |
| 順天堂大学 | 1 |
| 藤田こころケアセンター | 1 |
| 総合大雄会病院 | 0.5 |
| 大同病院 | 1.5 |
| 江南厚生病院 | 0.5 |
| 諏訪中央病院 | 1 |
| トヨタ記念病院 | 0.5 |
| 名古屋医療センター | 0.5 |

| | |
|---|---|
| Univertità degli Studi di Milano-Bicocca | 3 |
| Faculty of Medicine, Khon Kaen University | 2 |
| Boston Children's Hospital,USA | 0.6 |
| School of Medicine, University of Zambia | 1.2 |
| School of Medicine, Gachon University | 2 |
| National Taiwan University Hospital | 2 |
| School of Medicine, Griffith University | 0.6 |

| | |
|---|---|
| 海外実習 | 11.4 |
| 学外実習（国内） | 8 |
| 学内実習（臨床） | 62.6 |
| 基礎医学コース | 38 |

# 平成２７年度　選択制総合医学　選択コース

※選択者数は学生１名（６週間）＝１、学生１名（４週間）＝0.6、学生１名（３週間）＝0.5、学生１名（２週間）＝0.4で計算されています。

| 選択コース | 選択者数 |
|---|---|
| 循環器内科学Ⅰ | 6 |
| 呼吸器内科学Ⅰ | 1.5 |
| 血液内科学 | 1.5 |
| 肝胆膵内科学 | 4.9 |
| 消化管内科学 | 2 |
| 内分泌・代謝内科学 | 0.5 |
| リウマチ・感染症内科学 | 0.5 |
| 脳神経内科学 | 2.5 |
| 呼吸器内科学Ⅱ（第２） | 2 |
| 神経内科（第２） | 0.5 |
| 精神神経科学 | 8.4 |
| 救急総合内科 | 2 |
| 小児科学 | 1 |
| 放射線医学 | 1.5 |
| 放射線腫瘍科 | 0.5 |
| 放射線科（第２） | 0.5 |
| 肝・脾外科学 | 0.5 |
| 総合外科・膵臓外科学 | 0.5 |
| 上部消化管外科学 | 1 |
| 脳神経外科学 | 0.5 |
| ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学Ⅰ | 0.5 |
| 産婦人科学 | 0.5 |
| 眼科学 | 3 |
| 腎泌尿器外科学 | 0.5 |
| 麻酔・疼痛制御学（第２） | 0.5 |
| 臓器移植科 | 0.5 |
| 眼科（第２） | 1.5 |

| 選択コース | 選択者数 |
|---|---|
| 西伊豆病院 | 0.5 |
| 飯塚病院 | 0.4 |
| 磐田市立総合病院 | 0.5 |
| 米沢市立病院 | 0.5 |
| 安城更生病院 | 0.5 |
| 江南厚生病院 | 1 |
| 兵庫県立加古川医療センター | 0.5 |
| 刈谷豊田総合病院 | 0.5 |
| 諏訪中央病院 | 1 |
| 海南病院 | 0.5 |
| トヨタ記念病院 | 1 |
| 名古屋医療センター | 1 |

| | |
|---|---|
| Univertità degli Studi di Milano-Bicocca | 2 |
| Faculty of Medicine, Khon Kaen University | 3 |
| Boston Children's Hospital,USA | 2 |
| School of Medicine, University of Zambia | 1.8 |
| National Taiwan University Hospital | 1 |

| | |
|---|---|
| 海外実習 | 9.8 |
| 学外実習(国内) | 7.9 |
| 学内実習(臨床) | 45.3 |
| 基礎医学コース | 47 |

# 平成２６年度　選択制総合医学　選択コース

※選択者数は学生１名（６週間）＝１、学生１名（３週間）＝1/2(0.5)で計算されています。

| 選択コース | 選択者数 |
|---|---|
| 循環器内科学Ⅰ | 4 |
| 呼吸器内科学Ⅰ | 1.5 |
| 血液内科学 | 2 |
| 肝胆膵内科学 | 6.5 |
| 消化管内科学 | 5 |
| 内分泌・代謝内科学 | 1.5 |
| リウマチ・感染症内科学 | 1 |
| 腎内科学 | 4 |
| 救急総合内科 | 2.5 |
| 呼吸器内科学Ⅱ（第２） | 1 |
| 神経内科（第２） | 1 |
| 精神神経科学 | 8 |
| 小児科学 | 1 |
| 放射線医学 | 2 |
| 放射線科（第２） | 0.5 |
| 肝・脾外科学 | 2 |
| 総合外科・膵臓外科学 | 3 |
| 下部消化管外科学 | 0.5 |
| 心臓血管外科・呼吸器外科学 | 1 |
| 内分泌外科 | 0.5 |
| 一般消化器外科学（第２） | 0.5 |
| ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学Ⅰ | 0.5 |
| 産婦人科学 | 0.5 |
| 耳鼻咽喉科学Ⅰ | 0.5 |
| 眼科学 | 2.5 |
| 腎泌尿器外科学 | 1.5 |
| 災害・外傷外科 | 1 |
| 麻酔・侵襲制御医学 | 0.5 |
| 外科・緩和医療学 | 1 |
| 眼科（第２） | 1 |

| 選択コース | 選択者数 |
|---|---|
| 豊見城中央病院 | 1 |
| 名古屋医療センター | 1 |
| 安城更生病院 | 0.5 |
| 岸和田盈進会病院 | 1 |
| 大同病院 | 0.5 |
| 社会保険中京病院 | 1 |
| 中頭病院 | 0.5 |
| 順天堂大学医学部附属<br>順天堂医院 | 1 |
| 名古屋記念病院 | 0.5 |
| 諏訪中央病院 | 1 |
| 海南病院 | 0.5 |
| トヨタ記念病院 | 0.5 |

| | |
|---|---|
| Univertità degli Studi di Milano-Bicocca | 2 |
| Faculty of Medicine, Khon Kaen University | 3 |
| Boston Children's Hospital,USA | 1 |
| School of Medicine, University of Zambia | 3 |
| School of Medicine, Gachon University | 2 |
| National Taiwan University Hospital | 1 |

| | |
|---|---|
| 海外実習 | 12 |
| 学外実習(国内) | 9 |
| 学内実習(臨床) | 58 |
| 基礎医学コース | 44 |

## 講座別の学内実習内容

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 循環器内科学Ⅰ |
| 責　任　者 | 尾崎行男 |
| 受入学生数 | 一期間に３～４名 |
| 実習期間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実習内容 | A.救急医療コース<br>①救命救急センター（CCU）で医療チームの一員として医師と共に行動する。<br>・教科書で学んできたことを、実際の症例を通じて知識の再整理と生きた知識の獲得を図る。<br>・医師と共に行動することで、医学的な知識のみならず医師としての道徳観を身につける。<br>・救急医療の体験から生命の尊さを学ぶ。<br>②循環器内科領域における各専門分野のミニレクチャーをうける。<br>心臓カテーテル検査、心臓核医学検査、血液生化学検査・神経体液性因子、心臓超音波、心臓病理、電気生理学的検査（カテーテルアブレーション)、体内式ペースメーカー植え込み術ならびに ICD 植え込み術 など<br>B. 学外実習コース<br>循環器内科関連病院（名古屋記念病院、大同病院、碧南市民病院など）での学外実習を援助・斡旋をうける。派遣されている医局員の指導下で実習を行う。<br><br>C. 半日自習コース<br>医師国家試験に向けての自習時間を充分に確保できる。<br>この場合、主に午後が自習時間となる。<br>・ 最低限、カンファレンス（月曜昼、水曜昼、金曜朝、金曜昼）には出席する。<br>・ 一般病棟の症例を担当し、最後に症例発表を行う。<br>症例の受け持ちを希望しない場合、循環器に関する学習課題を設定し、最後に学習発表を行う。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 呼吸器内科学Ⅰ |
| 責　任　者 | 今泉和良 |
| 受入学生数 | 最大５名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、３週間コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 1)スチューデントドクターとして、診療チームに加わる。<br>2)新患の問診、身体所見、検査見学および討議、回診を実際に行う。<br>3)受け持ち患者をカンファレンスで発表、治療計画を討議する。<br>4)教授または講師外来にて外来技術を習得する。<br>5)肺機能、気管支鏡、ＣＴＮＡＢなどの検査に参加する。<br>6)夜間睡眠検査に参加する。<br>7)適当な症例があった場合には地方会などで発表を行う。<br><br>本プログラムにおいて、学生が行える医行為は身体所見をとることまでに留まるが、受け持った疾患の検討、治療方針(投薬を含め)などに積極的に参加することが要求される。疾患の説明、特に悪性腫瘍の告知、インフォームドコンセントが必要な検査の説明などには、指導医とともに必ず参加することが要求され、疾患の理解のみでなく疾患をもった患者さんの苦悩に関しても理解することを目的とする。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 消化管内科学 |
| 責　任　者 | 大宮　直木 |
| 受入学生数 | ３，４名 |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | １．病棟<br>受け持ち患者さんを中心に診療に参加する。病棟回診につく。症例カンファランスに出席する。<br>２．内視鏡、Ｘ線検査室<br>上部・下部内視鏡、消化管Ｘ線検査に立ち会い、自身でも行う。読影のカンファランスに出席する。<br>３．Ｘ線、内視鏡写真の読み方の指導を受け国試に役立てる。<br>４．病理標本の切り出し、合同 or グランドカンファランス（消化管内科、外科、病理）に出席する。<br>５．希望があれば検体からの DNA の抽出、PCR を用いた解析など分子生物学的手法にもふれ、疾患の病態把握や治療の選択における遺伝子の意義など、最新の知識についても学ぶ。<br><br>消化管内科実習期間中に、内科でも特に患者数の多い消化管疾患患者さんの扱い、検査の意味と適応について学ぶ。各カンファレンス、研究会にも出席し消化器疾患の最先端の知識も学ぶ。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 肝胆膵内科学 |
| 責　任　者 | 吉岡健太郎 |
| 受入学生数 | 約６名 |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | １．病棟<br>受け持ち患者さんを中心に診療に参加する。病棟回診につく。病棟カンファランスに出る。<br>２．内視鏡、Ｘ線検査室<br>超音波内視鏡、ＥＲＣＰ、ＰＴＣＤ、ＴＡＣＥ、ＲＦＡに立ち会い、その適応と所見の読みを学ぶ。<br>３．超音波検査室<br>腹部超音波検査に立ち会い、自身でも経験する。<br>肝胆膵の画像検査に立ち会い、その適応と所見の読みを学ぶ。<br>４．ＣＴ、ＭＲＩの読み方の指導を行い国試に役立てる。<br>５．なるべく多くの患者さんに接し、その疾患について学ぶ。消化器疾患患者さんの扱い、検査の意味と適応について学ぶ。抄読会、研究会にも出席し消化器疾患の最先端の知識にも触れる。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 血液内科学 |
| 責　任　者 | 恵美宣彦 |
| 受入学生数 | ２名まで（それぞれの期間で） |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | （１）代表的な血液疾患の患者（3 名～5 名）を主治医として担当し、期間中毎日、問診、診察、カルテ記載、上級医との discussion を行う。また担当患者における骨髄穿刺等の手技に関しても、積極的に関わる。<br>（２）受け持ち患者の骨髄検体を用いて、自ら標本作製を行い、検鏡から診断までの過程を経験する。代表的な疾患については、診断を行うことができるまでのスキルを身につける。<br>（３）化学療法（抗がん剤治療）、分子標的療法、免疫療法、造血幹細胞移植などの実際を経験し、その治療効果と合併症について理解する。<br>（４）血液疾患の最先端の臨床および基礎研究について、指導医よりレクチャーを受ける。<br>（５）期間中、希望に応じて東海地区の当科と連携する施設の血液内科を見学することができる。<br>（６）その他希望があれば可能な範囲で適宜対応する予定であるので、遠慮無く申し出ること。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 内分泌・代謝内科学 |
| 責　任　者 | 鈴木敦詞 |
| 受入学生数 | 一期間に最大４名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 内分泌代謝内科は、臨床ではコメディカルと医療チームを組んで生活習慣病に取り組んでいます。また研究では糖尿病、甲状腺疾患、動脈硬化、骨代謝、肥満に遺伝子工学、細胞工学、免疫学の手法を用いて取り組んでいます。次の 2 点を中心に学びます。<br>1)上級医の指導を受けながら、クリニカルクラークシップとしてチーム医療に加わる。内分泌代謝疾患の外来診療も経験する。<br>2)最新の内分泌代謝疾患の研究にも接してみる。研究会に参加して最近の知識を得る。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | リウマチ・感染症内科学 |
| 責　任　者 | 吉田俊治 |
| 受入学生数 | １名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間または分割も可 |
| 実 習 内 容 | 病棟での臨床実習あるいは研究室での実習が選択可能です。もちろん、両方を選択することも可能です。<br>病棟での臨床実習では、内科一般および専門科としてのリウマチ性疾患、感染症患者の診断・集約的治療について実習が可能です。<br>まず、専門科としての診療を行う前に、クリニカル・クラークシップで学んだ診断学、身体所見の取り方、検査所見の見方を実際の臨床の場で確認し、診療の技術を習得すると同時に、医師としての心構え、勉強の仕方など将来、良き医師となるための礎となる臨床実習の期間となり、進路の決定に一助となることでしょう。<br>当教室は東海地区で他大学や病院に先駆けて、膠原病をはじめとするリウマチ性疾患を専門科として標榜してきました。現在も同地区におけるリウマチ・膠原病診療の拠点の一つであり、毎日数名～10 数名の新規患者が、新たに紹介されてきます。<br>一方、感染症においては髄膜炎、脳炎、敗血症や種々の免疫不全状態に合併した重症感染症などの集約的治療を行っています。また、院内感染防止対策委員会や ICT に参加しています。<br>研究においては、難治性疾患である膠原病の研究に教室全体で取り組んでいます。特に、近年、肺高血圧症合併膠原病患者に対する治療法や病因解明に向けたプロジェクトを進めています。研究にも興味のある、あるいは一度研究の雰囲気を味わってみたい、さらに将来、海外留学を夢見ている意欲のある人は是非、研究室での実習も経験してみるのもよい機会と思います。教授を始め、多くの留学経験者がいますので、留学時の話なども将来の進路を決める上で転機になるかも知れません。<br>膠原病や感染症は種々の臓器に病変が起こり得る全身性疾患です。したがって、膠原病や感染症患者に対し、内科全般にわたるオールラウンドな集約的医療が必要です。将来、一般内科医を目指す人にとっても、リウマチ専門医、感染症専門医を目指す人にとっても、きっと実りのある臨床実習となると思います。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 腎内科学 |
| 責　任　者 | 湯澤由紀夫 |
| 受入学生数 | 一期間に最大６名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | ※腎内科では積極的に実習に参加する意欲のある学生を受入れします。<br>１）診療チームに参加しての臨床実習<br>２）国試腎疾患関連の過去問勉強会<br>１）について<br>腎内科にある４つの診療チームのいずれかに参加し、チームの一員として受け持ち患者を持って臨床実習を行なう。毎朝の回診は各学生が行ない、回診後は各診療チームのショート・カンファランスにおいて、回診結果を報告する。受け持ち患者の腎生検やシャント作成手術にも加わる。週一回の新入院患者カンファランスでは受持ち患者の症例提示を行ない、検査計画・治療方針の概要を説明する。週１回の教授回診並びに症例検討会では、学生は各自が担当した患者のプロブレムリストを紹介する。<br>２）について<br>国試腎疾患関連の過去問の解説；准教授・講師による解説 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 脳神経内科学 |
| 責　任　者 | 武藤多津郎 |
| 受入学生数 | 一期間に最大３名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 次の２点を中心に神経内科疾患を学びます。<br>1. 病棟の医療チームに参加し、実際の症例を経験する。<br>神経内科病棟及びＳＣＵ入院患者について他の医療スタッフとともにその診断・検査・治療の実際について学びます。検査については採血、筋電図、脳波など実際に実行することができるよう考慮します。<br>担当患者は若手医局員の受け持ち患者を一緒に診ながら、上級医の指導を医局員と一緒に受けますので親切かつ丁寧な指導が行われますのでより深い理解が可能になると思われます。<br>2. 神経内科疾患について復習し、知識を整理する。<br>教科書、医学雑誌などの輪読会を行い、自ら知識の整理を計るとともに医局員によるクルズスが行われます。<br>3. 学外関連病院で神経難病病棟の見学を行い、神経難病医療の実際を経験する。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 救急総合内科学 |
| 責　任　者 | 岩田充永（正）<br>寺澤晃彦（副:コーディネーター）<br>神宮司成弘（副:病棟診療部門チーフ） |
| 受入学生数 | 同時受け入れ４名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、３週間コース |
| 実 習 内 容 | **実習目標**<br>総合内科病棟での診療に参加し、内科系で遭遇する頻度の高い疾患（コモンディジーズ）の管理を中心に、病棟診療医（ホスピタリスト）がおこなう実践的医療のエッセンスを学びます。実習は、入院診療、クルズス・カンファレンス等の教育イベントを中心として、実習中は診療チームの一員として診察・検査・治療に積極的に携わる事を目標とします。<br><br>**入院診療**<br>入院担当医チーム(全 2～3 チーム)の１つに所属し、初期研修医とともに担当指導医の指導下に検査・治療方針の選択と実践を経験します。問題対応能力(臨床推論・鑑別診断、標準的治療の実践)、EBM の実践(おもにエビデンスの収集と利用)、患者医師関係、チーム医療について学びます。カンファレンスでは指導医の指導下に担当症例の提示を行います。<br><br>**クルズス**<br>● ER における内科診療<br>● 集中治療における内科診療<br>● 内科診療における気道・呼吸管理<br>● 内科診療における臨床疫学<br><br>**カンファレンス**<br>ランチョンセミナー（週決めで企画される下記内容を学びます）<br>● 重要症候・病態（第１・５週）<br>● 臨床ガイドライン（第２週）<br>● 臨床疫学（第３週）<br>● 学生発表（第４週）<br>新入院カンファレンス（症例提示のエッセンスを学びます）<br>困難症例カンファレンス（問題対応能力のエッセンスを学びます） |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 臨床腫瘍科 |
| 責　任　者 | 河田健司 |
| 受入学生数 | ３名（各期間１名） |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 臨床腫瘍科では臓器横断的な数多くのがん腫の診療の実践や、組織横断的な多職種によるチーム診療の実践を通して、本格的な臨床腫瘍学の教育を受けていただくことができます。<br>１．外来<br>指導医の外来に同席し、治療の説明、薬物療法の実施、副作用の確認等の診療に参加する。<br>２．病棟<br>受け持ち患者さんを中心に診療に参加する。<br>３．キャンサーボード<br>各診療科、多職種と行っているキャンサーボードに参加し、多職種による患者さん中心のチーム診療の実践を学ぶ。<br><br>臨床腫瘍科実習の期間中に、がん薬物療法の適切な実践を学んでいただきます。適切な実践とはそれぞれの臓器がんの特性とエビデンスに基づき、臓器障害や合併症に適切に対処し、最善の薬物療法を行うことです。それはどの臓器がんにも当てはまる見方・考え方であり、いろいろな臓器がんの断片的な知識や経験の寄せ集めとは異なるものです。この臓器横断的な視点を一つの学問として体系化したものが、これからの医療にとって必要とされる「がん薬物療法学」です。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 認知症・高齢診療科 |
| 責　任　者 | 武地　一 |
| 受入学生数 | 2名（1コースあたり） |
| 実習期間 | 3週間コース |
| 実習内容 | 1.　外来<br>① 外来診療の見学を行い、流れを理解する。<br>② 適宜、指導者の監督のもと、初診の問診、診察を行う。<br>③ 鑑別診断を考えた後、検査計画を立てる。<br>④ MRI、認知機能検査などの結果を解釈し、診断を行う。<br>⑤ 認知症についての薬物療法を学び、治療計画を立てる。<br>⑥ 本人・家族指導を経験する。<br>⑦ 地域の社会資源の使い方を習得する。<br><br>2.　認知機能検査<br>① 認知症の鑑別診断に必要な認知機能検査について学ぶ。<br>② 認知機能検査を実施できるよう経験する。<br>③ 精神症状の評価についても習得する。<br><br>3.　画像検査の解釈<br>① 認知機能検査の鑑別に必要な画像検査について学ぶ。<br>② 上記、画像検査について、多数例を見て判断できるようにする。<br>4.　認知症ケアチームについて<br>① 院内多職種チームである認知症ケアチームについて学ぶ。<br>② 認知症ケアチームのカンファレンス・回診に参加する。<br>③ 身体疾患の治療と認知症治療・ケアについて習得する。<br><br>5.　文献抄読<br>① 認知症の医療について重要な論文、最新の論文について読み方、診療への応用などを学ぶ |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 循環器内科学Ⅱ（第二教育病院） |
| 責　任　者 | 井澤英夫 |
| 受入学生数 | ２～３名 |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 1)主治医チームの一員として病棟業務に従事する。<br>指導医、研修医とともに、入院初日からチームの一員として診療に参加し、病歴の聴取、身体所見のとり方、初期治療方針の決定（検査、治療)、その後の診療の進め方について実習する。受け持ち症例については、診療概要をまとめ、検討会で提示する。この際、ＥＢＭに基づいた診療とは何かを学ぶ。<br>2)心電図、ホルター心電図、冠動脈造影写真などの読影を行う。心臓超音波検査、運動負荷検査、心臓カテーテル検査などを見学あるいは主治医の監督下に実施する。<br>3)採血（静脈、動脈)、ＩＶＨ管理、人工呼吸器管理、除細動処置などについて実際的に学ぶ。<br>4)循環器領域におけるトピックスなどについては適宜、講義を受けるとともに、時間の許す限り、病院内外での種々の研究会、講演会に参加し、見聞を広める。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 呼吸器内科学Ⅱ（第二教育病院） |
| 責　任　者 | 堀口高彦 |
| 受入学生数 | 一期間最大２名 |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 主として以下の内容です。<br>1. 胸部身体所見のとり方<br>2. 胸部単純Ｘ線写真，胸部 CT 写真読影のポイント<br>3. 実際の治療検査手技の体験<br>4. 1，2．3 をもとに実際の診断のプロセス・治療へアプローチする流れの理解<br><br>医療面接と身体診察は，検査前診断確率を上げるために最も重要な部分です。最近，患者さんへの接遇で問題になるケースも見受けられます。このような問題が起きないように適切な問診，身体所見のとり方を指導していきます。<br>また，呼吸器診療において胸部単純Ｘ線写真は簡便でどこの医療機関でも汎用されている検査です。写真の詳細読影は，教科書などを使用した練習よりも実際の診断・治療に関わった方がより興味深く学べると思います。また短期間ですが，治療によって変化していく画像をみることも大切な経験になると考えます。<br>手技に関しては点滴，採血（動脈・静脈），中心静脈ラインの確保から気管支鏡検査，胸部 US，CT 下肺生検，局所麻酔下胸腔鏡検査，胸腔ドレーンの挿入，気管内挿管などが当科で行っているものです。やる気があってタイミングさえ合えばどの手技も行うことができます。<br>教育者，臨床医が長いキャリアで培ってきたものを，それを必要とする学生に伝えていくという大きな責任感をもって指導していくつもりです。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 消化器内科学（第二教育病院） |
| 責　任　者 | 片野　義明 |
| 受入学生数 | 一期間に最大３名まで |
| 実 習 期 間 | ①６週間コース　②３週間コース |
| 実 習 内 容 | １）消化器疾患の基礎知識を復習すると同時に画像診断の読影をマスターする。<br>２）実際の診療に参加することで、臨床に関する知識を確実なものにする。<br>１）について<br>教授、講師が消化器疾患のなかで覚えておくべき重要ポイントを解説する。同時に画像を見ながら覚えておくべき重要な所見を解説する。<br>画像診断をマスターするには、まず、正常な画像を見て、どこに注目して読影するかを知る必要がある。その上で、さまざまな疾患の典型像を見て、画像からわかる病態を解釈することが重要である。一度見れば必ず記憶に残る画像を数多く見ることは国家試験対策にも不可欠である。<br>２）について<br>指導医がマンツーマンで指導する。指導医と行動を一緒にすることで、病棟の患者さんを一緒に担当したり、週に１回程度の救急患者を診察したりする。また、腹部超音波検査や消化管内視鏡検査は実際に体験することでさらに身近なものにできる。臓器別のカンファランスに参加することで、知識の幅を広げるようにする。<br>【その他】<br>わからないことはすぐに聞くことができるようにするのはもちろん、医師としての生きがいを感じてもらえるようにしたい。また、実習期間中に開催される学会に参加し最先端の医療をみることで、今勉強していることが将来どのように生かされるのかを知り、勉学に対する意欲を強めてもらいたい。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 神経内科（第二教育病院） |
| 責　任　者 | 野倉一也 |
| 受入学生数 | 一期間に最大１名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 次の２点を中心に神経内科疾患を学びます。<br>1. 病棟の医療チームに参加し、実際の症例を経験する。<br>神経内科病棟入院患者について他の医療スタッフとともにその診断・検査・治療の実際について学びます。検査については採血、筋電図、脳波など実際に実行することができるよう考慮します。<br>担当患者は若手医局員の受け持ち患者を一緒に診ながら、上級医の指導を医局員と一緒に受けますので親切かつ丁寧な指導が行われますのでより深い理解が可能になると思われます。<br>2. 神経内科疾患について復習し、知識を整理する。<br>教科書、医学雑誌などの輪読会を行い、自ら知識の整理を計るとともに医局員によるクルズスが行われます。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 精神神経科学 |
| 責　任　者 | 岩田仲生 |
| 受入学生数 | 各期間８～１０名程度 |
| 実 習 期 間 | ６週間コース又は３週間コース |
| 実 習 内 容 | *＊モデル･コアカリキュラムに準拠しM5での臨床実習の不足分を補充する位置づけとして発展的実習に取り組む。*<br>精神科診療の実際の理解と、一般診療場面で必要とされる面接技法や患者・家族の心理を理解する上で欠かせない行動科学的な介入技術の取得を目標とする。また大学病院以外の精神科医療の現場を体験する目的で関連諸施設（単科精神病院、総合病院精神科・心療内科、精神科クリニック、デイケア、精神保健センター等）での研修を行う。<br>1）面接技法と精神症状の捉え方の基本を身につける。<br>2）頻度の高い精神疾患に対する初期対応と治療の実際を学ぶ。<br>3）救命救急センター・ＧＩＣＵ、ＣＣＵ、血液内科、腎・肝移植等でのリエンゾン活動の実際を学ぶ。<br>4）大学以外の精神科・心療科の施設見学<br>※自由な学習時間を希望する学生は歓迎しないため、留意されたい<br><br>【週間スケジュール】<br>（大学病院）<br>■午前：１．外来予診、２．入院患者の窓口業務補助、３．他科病棟コンサルテーションに指導医と共に往診、４ショートケアにスチューデントスタッフとして参加<br>■午後：１．精神科病棟業務補助、<br>２．他科入院中の患者のコンサルテーション医療<br>■特別：月曜日 14:00 ニューケースカンファ、15:00 教授回診、16:00 リエゾンカンファ、17:30 カンファランス・研究会<br>＊単科精神科病院、市中総合病院、児童施設など先方のプログラムに沿って実習をすすめる。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 小児科学 |
| 責　任　者 | 吉川哲史 |
| 受入学生数 | 一期間に最大４名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | (1)指導医について、マンツーマンで小児科外来診療、入院診療について学ぶ。<br>(2)乳児検診に参加し、正常乳児の発育、発達について学ぶ。<br>(3)予防接種について正しい知識を学ぶ。<br>(4)循環器外来に参加し、聴診ならびに心エコー、心電図の解析ができるようになる。<br>(5)教授回診時、症例検討会で受け持ち患者についてプレゼンテーションする。<br>(6)採血、点滴、腰椎穿刺等の主要な手技を見学する。<br>(7)（午後からは）自主学習を行う（希望者)。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 小児科（第二教育病院） |
| 責　任　者 | 近藤康人 |
| 受入学生数 | ２名 |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 下記２種類のコースを準備します。いずれかあるいは両者の選択は学生の希望に従う。<br>1)小児科プライマリーケアの実習<br>2)小児アレルギーの実習 |

| 講　座　名 | 皮膚科学 |
|---|---|
| 責　任　者 | 杉浦　一充 |
| 受入学生数 | ５名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 本年は、将来、皮膚科医をめざし、医療の現場で熱心に実習し、考え、医療チームの一員として行動できる学生を歓迎します。<br>外来ならびに入院患者を診療し、皮膚科一般、皮膚外科、皮膚アレルギーについて学びますが、レーザー治療を含む美容皮膚科についても学ぶことができます。各学生には、担当指導医を決め実習を行います。<br>皮膚病理組織検討会、各種の勉強会、研究会、学会にも参加して、皮膚科学の魅力を知っていただきたいと思います。皮膚科学教室の明るく、和やかな雰囲気のなかで、臨床の力と病態生理を考える力を伸ばしましょう。 |

| 講　座　名 | 放射線医学 |
|---|---|
| 責　任　者 | 外山　宏 |
| 受入学生数 | １期間最大５名 |
| 実 習 期 間 | （１）６週間コース<br>（①学内放射線医学のみ、②学内のみ（３週間放射線医学＋３週間放射線腫瘍科)、③３週間学内放射線医学＋３週間下記のいずれかの関連病院)、①～③を選択する。<br>（２）３週間コース<br>（①学内放射線医学のみ、②下記のいずれかの関連病院）<br>①あるいは②を選択する。 |
| 実 習 内 容 | １）画像診断（CT,MRI 中心）<br>２）核医学（SPECT、SPECT/CT、PET/CT、内用療法）<br>３）血管造影・IVR<br>４）学会・研究会・勉強会参加<br>１）～４）について、若手医師と一緒に日常業務に参加し、on the job training を基本とします。<br>４）実習の期間中に開催される学内、学外の学会・研究会・勉強会に参加し、放射線医学の最新情報について勉強していただきます。<br><br>＊関連病院は北信総合病院、名鉄病院、名古屋セントラル病院での実習が可能です。詳細は選択制総合医学学外実習施設一覧をご参照ください。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 放射線腫瘍科 |
| 責　任　者 | 林　真也 |
| 受入学生数 | １～２名 |
| 実習期間 | ３週間コース（学内放射線腫瘍科のみ）<br>放射線治療は画像診断学と密接、不可分の関係にあるので放射線診断と併せて実習することが望ましい。 |
| 実習内容 | １．外来（新患）<br>放射線治療依頼を受けた際の適応判定や照射計画立案に必要な理学所見、画像データについて学習する。放射線治療に必要な画像データの取得方法について学習する。診察に参加し個々の事例における障害の説明方法を習得する。<br>２．外来（再診）<br>照射中の経過観察の診療に参加し、効果判定と照射計画の変更の必要の有無につき学習する。<br>３．外照射<br>治療計画立案を行い、放射線の特性、注意点を学習する。特殊治療である SRT,　IMRT　の治療計画ならびに検証を実習し線量計算、計測につき体験する。<br>４．小線源治療<br>小線源治療を模擬体験し、治療計画立案を行い、線量計算、放射線の特性、注意点を学習する。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 地域老年科　（長寿包括ケアクリニック） |
| 責　任　者 | 岩尾 聡士 |
| 受入学生数 | ５、６名 |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | １．訪問診療同行<br>　長寿包括ケアクリニックにて診察を実施する居宅患者及び施設患者への訪問診療に同行し、在宅医療の現場実習を実施。<br>　患者の自宅で提供する医療を実際に見て都市型在宅医療の在り方を学んで頂く。<br><br>２．多職種連携の勉強<br>　長寿包括ケアクリニックが入居するサービス付高齢者向け住宅において、連携する多職種（訪問看護師、ケアマネージャー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士等）との連携を実習頂く。<br>　在宅医療において重要となる、チーム医療の現場を見て多職種連携の在り方を学んで頂く。<br>　訪問看護ステーションへの介護保険と医療保険の違いを学び、特に医療保険の指示より、街全体で高齢者を看守る体制について学習する。<br><br>３．在宅緩和ケア研修<br>　在宅で緩和ケアを実施する患者に対するケアについて、病院での緩和ケアと比較しながら実習頂く。<br>　在宅ならではの処置、緊急時対応等の現実を見て、今後主流となる在宅緩和ケアについて学んで頂く。 |

| | |
|---|---|
| 担　当　科 | 総合消化器外科 |
| 責　任　者 | 宇山　一朗 |
| 受入学生数 | ６名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 臨床実習よりさらに充実したクリニカルクラークシップを体験する。診療チームの一員として患者さんを受持ち、診察・検査・手術・術後管理などの実際に従事する。病棟業務については処置回診を行い、ガーゼ交換、ドレーン管理、抜糸、点滴ルートの確保など行う。患者さんの状態を細かく観察し、問題点を抽出し主治医とともに対策を検討する。手術については受持患者さんはもちろん他の患者さんの手術にも助手として参加する。腹部超音波、消化管造影、内視鏡検査などの諸検査については、施行医の補助を行う。また、臨床において、画像の読影・文献検索・学会発表の技法を習得する。<br>外科診療はチームワークが大切なので、学生諸君もその中に入って雰囲気を実感して欲しい。積極的に取り組み、実りある修練として下さい。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 小児外科学 |
| 責　任　者 | 鈴木達也 |
| 受入学生数 | 各分割期間に最大２名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | スタッフの小児外科スタッフとマンツーマンで行動を共にし、小児外科臨床の実際を体験する。医師国家試験における小児外科分野、肝臓移植分野のみならず外科基本知識の学習も同時に教育していく。特に小児外科手術を中心に術前、術中、術後管理と周術期管理を通して、小児および外科分野の知識、病態生理等を分かり易く解説し理解を深める。また、手術においては積極的に助手として参加することができる。<br>肝移植診療を通して肝臓外科診療の基本と、各種感染症、免疫抑制療法等の実際も併せて体験することができる。<br>実習期間中に当科所属の学会、研究会等があれば希望に応じてスタッフとともに参加することも可能である。<br>最大の特徴は、専門分科が強い昨今、特別な専門臓器を決めることなく全領域の疾患を診ることができることである。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 心臓血管外科学 |
| 責　任　者 | 高木　靖 |
| 受入学生数 | 1～2 名 |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 実習の期間は５週間を前半の３週と後半の２週に分けるか、または相談により希望の期間とします。心臓血管外科チームは現在３チームに分かれていますので､そのうちの１ないし２チームに属して、その１員として患者さんを受け持ちます。ポリクリ実習では手術見学のみの短期間実習でしたが、選択制総合医学では入院から退院までの全行程をじっくり体験していただきます。病棟診療、心カテーテル・心血管造影検査、手術、術後集中治療などを研修医および受持医と行動を共にして勉強します。症例検討会、抄読会でも報告、発表をしていただき、知識と実技に磨きをかけたいと思います。学内外の研究会、レクリエーションにも医局員同様参加してもらいます。心臓血管外科に興味を持っている学生は是非きてください。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 呼吸器外科学 |
| 責　任　者 | 星川　康 |
| 受入学生数 | 一期間最大 2 名 |
| 実 習 期 間 | 6 週間コース、分割（3 週間コース）いずれも可 |
| 実 習 内 容 | 初期研修医に求められる（呼吸器外科）診療の基礎を身につけるために、胸部解剖、呼吸生理および呼吸器外科領域の一般的疾患の診断・手術適応・術式を理解します。受け持ち患者さんの病状を把握し、胸部 X 線写真・CT の読影、血液および生理学的検査成績の評価を行い、その内容を症例検討会・病棟回診でプレゼンテーションします。さらに、手術に参加し、開胸助手、スコピスト、閉胸と基本的な術後創傷処置を行います。診療録を記載しながら、一つ一つの問題点を討議し対策まで立案する、医療推論を重要視したきめ細かい参加型実習を実践します。そして、チーム医療の中で、患者、指導医、他の医療従事者との適切な関係を築きます。<br>熱意溢れる指導教員が、全人格的に学生と関わり、医療の基本的な考え方、医学の魅力・楽しさ、医療人・社会人としての基本的な姿勢を伝えます。<br>興味のある学生さんは、是非呼吸器外科にいらしてください。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 外科・緩和医療学(第一病院) |
| 責　任　者 | 東口髙志 |
| 受入学生数 | ３名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 緩和ケア病棟および緩和ケアチーム、栄養サポートチームへの医療の参加を通じて、**①癒し環境の提供、②全人的医療の実践、③緩和ケア NST の設立、④コミュニティ(相補的支援システム)の構築、⑤腫瘍学の導入、⑥自立型地域医療連携の創設、⑦情報共有と発信力の強化などを学びます。**<br><br>1.緩和ケア病棟では、多職種医療チームの一員として疼痛管理やこころのケアなどの臨床を体験します。病棟回診や教授回診、症例カンファランスに出席して、緩和医療の基本的考え方・医療倫理などを学びます。また、ボランティアの方々も接して、医療以外の癒やしや、**お茶会・コンサートなどによる患者相互の支援についても体験します。**<br>2.緩和ケアチームでは、全科横断的に院内各科より依頼された患者さんの治療・ケアを支援するためのミーティングやラウンドに参加します。<br>3.最近脚光を浴びている栄養サポートチーム(NST：Nutrition Support team)の一員として、ミーティングやラウンドに参加して、わが国で最も求められている医療のひとつである“がん治療における代謝学的アプローチ”について体験・修得します。<br>4.特に、緩和ケアチームや栄養サポートチームでは、多職種と連携する重要性を体験します。 |

| 講　座　名 | 移植・再生医学 |
|---|---|
| 責　任　者 | 剣持　敬 |
| 受入学生数 | ３～４名 |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらも可 |
| 実 習 内 容 | １．病棟<br>受け持ち患者さんを中心に診療に参加する。廻診につく。カンファランスに参加する。<br>２．手術<br>移植手術（腎移植、膵臓移植）に参加する。<br>３．移植医療支援室<br>支援室における、移植相談、移植の IC 等に参加する。<br>４．希望があれば、移植免疫学、免疫抑制剤の遺伝子多型による投与法などの基礎的研究から最新の知識を習得する。<br>実習期間中に、移植医療の特殊性（生体ドナーの適応、倫理性、移植後の管理）について学ぶとともに、移植医療の課題と先進技術について習得する。 |

| 講　座　名 | 消化器外科学（第二教育病院） |
|---|---|
| 責　任　者 | 堀口明彦 |
| 受入学生数 | ２～３名 |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可能 |
| 実 習 内 容 | 1）こんなことが学べます。<br>○採血、消毒、皮膚縫合など基本手技がマスターできます。<br>○主治医の一人として患者さんを担当し、術前診断から手術までを経験できます。虫垂炎、ヘルニア、胃癌、大腸癌、膵癌、肝癌などの消化器外科領域から、血管外科（下肢静脈瘤など）、小児外科など幅広い外科学の症例を経験できます。<br><br>2）ここまでやれます。<br>○実際に採血消毒、皮膚縫合、抜糸、などの手技を行います。<br>○術前術後画像の読影を指導医とともに検討し、診断能力を鍛えれます。<br>○患者さんへのインフォームドコンセントに参加できます。<br>○手洗いをし、手術に参加できます。<br>○最先端医療である、肝細胞移植などの研究に参加できます。<br>○国内の学会、研究会に参加できます。<br>○海外留学中である先輩を訪問し、研究生活に触れることも可能です。 |

| 講　座　名 | 内分泌外科 |
|---|---|
| 責　任　者 | 日比八束 |
| 受入学生数 | ２名 |
| 実 習 期 間 | ６週間コースおよび３週間コースのいずれでも可 |
| 実 習 内 容 | 内分泌外科における実習では、臨床面での実習を主として行う。当科では、内分泌疾患として甲状腺、上皮小体、副腎の腫瘍性病変の診療を行っており、外来および入院患者の診察、検査、診断、治療について経験してもらう。この際には、実際の手技はもとより、その適応や方法の選択などについて指導を受けることになる。定期的に行っている抄読会や症例検討会、学外での研究会などにも積極的に参加してもらう。 |

| 講　座　名 | 乳腺外科 |
|---|---|
| 責　任　者 | 内海俊明 |
| 受入学生数 | 約３名 |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | １．病棟<br>受け持ち患者さんを中心に診療に参加する。病棟回診につく。病棟カンファランスに出る。<br>２．外来<br>外来に立ち会い、問診・視触診を行う。<br>マンモグラフィ、乳房超音波検査の実際と読影を学ぶ。その他細胞診、針生検の手技を学ぶ。<br>３．手術<br>手術の適応を学び、実際の手術に立ち会い、経験する。<br>４．マンモグラフィ、乳房超音波検査の読み方を学び国試に役立てる。<br>５．病理標本の切り出し、カンファランスに出る。<br><br>近年急増している乳がん患者さんに触れ、検査の意義と適応ならび治療法について学ぶ。抄読会、研究会にも出席し乳腺疾患の最先端の知識にも触れる。また、患者会に出席して患者さんの生の声を聞くことも将来の糧になるであろう。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 脳神経外科学 |
| 責　任　者 | 廣瀬雄一 |
| 受入学生数 | ２名～４名 |
| 実習期間 | ６週間コースが原則、分割（３週間）コースも可能。 |
| 実習内容 | 脳神経外科病棟において脳腫瘍、脳血管障害、脊椎病変といった神経学的症状の原因になる各種疾患に対する理解を支援する。すなわち手術の他、薬物療法、放射線療法、血管内治療を含めた多角的治療法の実際についても教育する。この他、電気生理学の知識に基づいた機能的脳神経外科の分野についても教育を行い、新しい脳神経外科学の習得を支援する。希望者には NCU における急性期重症脳血管障害、頭部外傷治療の実際を見学することも認められ、救命医療の理解を深める助けとする。いずれの病棟においても指導医の管理のもと、処置、診察への参加を認める。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 脳神経外科（第二教育病院） |
| 責　任　者 | 加藤庸子 |
| 受入学生数 | ２名～４名 |
| 実習期間 | ６週間コースが原則、分割（３週間）コースも可能。 |
| 実習内容 | 1.脳神経外科全般の疾患の治療について学ぶ。<br>（脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷、脊椎・脊髄疾患等、血管撮影、3D-CT、MRI、脳血管画像をもとにした脳動脈瘤手術、血管内治療、閉塞性脳血管障害（バイパス）などを診断から周術期管理について）<br>2.最新鋭の 1.5 テスラ超伝導 MRI や 64 列マルチ CT スキャン駆使した高精度な診断、ニューロナビゲーションシステム支援下での顕微鏡手術や、脳血管内治療といった高度先進的かつ低侵襲治療を積極的に応用し、難易度の高い症例についての理解を深める。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 脳卒中科 |
| 責　任　者 | 中原一郎 |
| 受入学生数 | 3，4 名 |
| 実 習 期 間 | 6 週間コース，分割（3 週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | １．脳卒中カンファレンス<br>月曜～土曜の毎朝 8：30 から行われる本カンファレンスに出席し、前日入院の脳卒中急性期症例（NCU，SCU 入院）の診断、治療について学ぶ。<br>２．脳血管内治療カンファレンス<br>月曜 8:00 から、脳血管内治療症例の治療適応、戦略を学ぶ。<br>３．脳血管外科カンファレンス<br>水曜 15:30 から、脳血管直達手術の手術適応、戦略を学ぶ。<br>４．ＮＣＵ研修<br>ＮＣＵ入院症例について、急性期脳卒中の診療をＥＲの段階から、スタッフとともに担当し、診断、治療のプロセスを身につける。なかでも tPA 静注療法、急性期再開通療法の基本を学ぶ。<br>５．脳血管外科手術<br>手術室における開頭手術に入り、開頭手術の基本、脳内血腫、脳動脈瘤手術、バイパス手術などを経験する。<br>６．脳血管内治療<br>ハイブリッド手術室における脳血管内治療に加わり、脳動脈瘤コイル塞栓術、頚動脈ステント留置術などの実際について見学研修する。<br>７．脳卒中リハビリテーションカンファレンス<br>金曜 16:00 から、脳卒中科、リハビリテーション科、脳卒中リハビリテーション認定看護師、MSW などによって行われる本カンファレンスに参加し、急性期からの脳卒中リハビリテーション、院内、院外における診療連携について見学研修を行う。<br><br>これらを通して、包括的脳卒中診療の最先端を学ぶ。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 整形外科学 |
| 責　任　者 | 山田治基 |
| 受入学生数 | ５名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 脊椎、膝、股、手、腫瘍の各臨床班から学生の希望により選択し、指導医のもとに外来、病棟、検査、手術などすべての業務に同行する。実際の医行為も、指導医のもとに、かなりの種類を経験する。希望があれば、病棟で準主治医的な業務を担当することも可能である。また、当院では、骨折や多発外傷などの外傷患者も多いので、整形外科的な救急医療についても経験できる。CCS との最大の違いは、最大５週間という期間を共に過ごすことによって、整形外科医療の本質である自然の治癒力を重視し、運動器の機能回復、向上によって患者さんのアメニティーを追求するという基本姿勢を体得できることである。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 整形外科機能再建学（第二教育病院） |
| 責　任　者 | 寺田信樹 |
| 受入学生数 | 若干名 |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 整形外科的治療への理解を深めることを目的とする。<br>実習内容は初期研修医とほぼ同様。手術助手、病棟処置助手などを指導医と共に行う。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 形成外科学 |
| 責　任　者 | 奥本隆行 |
| 受入学生数 | ３名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 外来診察介助、病棟回診（術前指示・術後処置)、<br>手術の助手、外来手術の助手、アザのレーザー治療介助など、<br>（原則として研修医に準ずる |

| 講　座　名 | リハビリテーション医学Ⅰ |
|---|---|
| 責　任　者 | 才藤栄一 |
| 受入学生数 | 同一期間に３名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 主治医として臨床を中心に体験しながら、臨床研究もプレビューする。<br>1)患者を担当、治療計画、リハ処方、入院管理を上級医と一緒に行う。<br>2)各種評価（歩行，ADL，嚥下など）を実際に行ってその意味を考える。<br>3)医局員と共に研究テーマを探し、小研究を計画、実施する。<br>4)七栗記念病院（回復期リハビリ）や初台リハビリテーション病院（都市型リハビリ)、輝山会記念病院（地域リハビリ）の見学も可能である。 |

| 講　座　名 | 産婦人科学 |
|---|---|
| 責　任　者 | 藤井多久磨 |
| 受入学生数 | 一期間に最大５名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 指導担当医師とマンツーマンで、臨床・研究・教育の３つの基本を実地体験する。<br>臨床は、外来及び入院患者に直に接することにより、診察、検査、診断、治療の流れを修得する。<br>研究は、教科書からは得られない疑問点を文献的に考察し、症例報告会で発表することにより、病態を解明するための専門的なアドバイスを受けるとともに臨床研究の場に立ち会い、その態度と方法論の基本を学習する。さらに、教室員に準じて、研究会や学会にも積極的に参加する。<br>教育は、実習中のポリクリ学生の指導を受け持ち、教育に対する能動的な体験をすることより、自己知識を再整理する。<br>以上を基本概念とします。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 腎泌尿器外科学 |
| 責　任　者 | 白木良一・日下 守 |
| 受入学生数 | ４～５名（２または３週であれば延べ 10 名前後） |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 当科での実習（選択制総合医学）を行う学生は、病棟では５名の学生指導医（准教授または講師）の指導下に、自分に割り当てられた入院患者さんに対する医療行為を可能な限り行う。ＩＶＰやＣＴなどの画像検査所見の読影を指導医から学び、今後の治療方針をともに考えて、チームの一員として積極的に診療に参加する。受け持ち患者の手術にも助手として参加し、基本的な手術手技や手術器械の構造、使用法などを学ぶ。また、外来では外来担当医から直接、病歴の聴取の仕方、身体所見の取り方、検査の進め方などの指導を受け､可能性の高い病名と鑑別診断などが列挙できる実力をつける。外来検査にも積極的に参加し、主治医あるいは検査医の指導下で検査手技を学ぶ。モーニングカンファランスや抄読会にも参加し、一人のスチューデント・ドクターとしての日課を経験する。<br>日程の都合が許せば、教室員が部長をつとめる、名古屋掖済会病院、南生協病院、愛知県済生会病院、名古屋記念病院、知多市民病院、静岡日赤、浜松日赤、平塚市民病院など市中総合病院の泌尿器科での短期実習も可能である。<br>以下に選択制総合医学の学生が医師の指導下に行える医療行為を列挙する。<br>病歴の聴取、触診、直腸診、<br>採血、静脈注射、点滴のルート確保、<br>導尿、膀胱穿刺、バルンカテーテルの留置、<br>ＩＶＰ、尿道造影検査、超音波検査、<br>膀胱鏡による膀胱内観察、逆行性尿管カテーテルの挿入<br>内視鏡手術による凝固止血<br>手術助手<br>最後に選択制総合医学学生諸君に学内実習を通して学んで頂きたいことは、私たち泌尿器科医がチームとして如何に患者さん中心の医療を実行すべく努力しているかということ、言い換えれば、それぞれの患者さんにとって、考えうる限りの科学的、論理的、しかも非侵襲的な優しい医療を実践しようと努めている臨床医チームとしての姿勢である。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 眼科学 |
| 責　任　者 | 堀口正之 |
| 受入学生数 | 一期間に最大３名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | １）外来実習<br>問診から検査（視力、眼圧、視野など）そして診察と日常行われている外来を実際に体験してもらい眼科診療の基礎を学んでもらいます。ポリクリでは行えなかったような眼底検査なども担当教員が指導します。<br>２）手術室実習<br>教室では網膜硝子体手術を中心に白内障手術､緑内障手術など年間二千例近くの手術を行っている。手術の原理を教員から学びそして理解してもらいその実際を見学し実習後半には顕微鏡下での助手にも挑戦してもらいます。<br>３）院外実習（学外実習とは異なる）<br>眼科には､多くの関連病院があり､それぞれ特色ある診療を行っている。学生の希望により、院外実習として関連病院での実習が可能である。地域医療の実際を学んでもらいます。<br>（代表的関連病院：第二日赤病院、名城病院、渥美病院、豊橋医療センター、可児とうのう病院など） |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 眼科（第二教育病院） |
| 責　任　者 | 平野耕治 |
| 受入学生数 | ２名 |
| 実 習 期 間 | 分割（３週間）コース |
| 実 習 内 容 | ①幅広い眼科の知識の修得と眼及び眼周囲組織の疾患を、教科書だけでなく実際の診療を通して学習する。<br>②視覚、視機能が人間にとってどれだけ重要であるのかを、外来、入院の患者さんを通じて実体験として把握する。<br>上記した①、②を選択制総合医学学内実習の主目的とする。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 耳鼻咽喉科学Ⅰ |
| 責　任　者 | 内藤健晴 |
| 受入学生数 | 一期間に５名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 知ってますか？医師国家試験で鼓膜所見と頸部の診察が重要なポイントであることを。耳鼻咽喉科選択制総合医学はそれができるところです。<br>実習期間中は、クリニカル・クラークシップの精神にのっとり、担当医師とともに実際に行動し医療行為へ積極的に参加することを通して、プライマリーケアや一般診療に関する基本的な知識、技能および医師としての態度の習得をめざします。これらの経験は翌年、研修医として初めて医療現場に出たすぐその日から、大きく役に立つでしょう。実際、以前、耳鼻咽喉科選択制総合医学を選択し、他病院で研修をしている卒業生から、大変役に立ち感謝しているとメールをもらいました。<br>研究活動もまた、診療と同様に医師としての重要な務めです。現在我々の教室で行っている研究にも参加すると同時に、国際および全国規模の学術集会へも随行し、現在最先端の研究がどのように行われているかを体感してもらいます。<br>到達目標は以下のとおりです。<br>1. 視診、触診、聴診などの基本的診察を自らが行うことができること（特に鼓膜所見、頸部の診察）。<br>2. 担当医の指導のもとに手術の皮膚切開、縫合、採血（動脈血、静脈血）、点滴など基本的医療処置ができ、さらに手術での第１～３助手を務めることができること。<br>3. 担当患者の病状、治療方針の概要を説明できること。<br>4. コンピューターを使った医療情報の検索、利用、管理が的確にできること。<br>**【その他】**<br>今までの選択制総合医学では、学生さんが入院患者さんから親しみをもって「先生」と呼ばれ、とても信頼されていました。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 耳鼻咽喉科学Ⅱ（第二教育病院） |
| 責　任　者 | 中田誠一 |
| 受入学生数 | 各コース３～５名 |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 第１週目：耳鼻咽喉科の基本的診察手技の習得<br>1)問診：耳鼻咽喉科特有の事項についての問診、アナムネの取り方を学ぶ<br>2)視診、触診：耳鏡、鼻鏡、舌圧子、間接喉頭鏡、硬性内視鏡、フレキシブルファイバースコープ等を用いた視診の手技を学ぶ。また、頭頸部外科領域腫瘤、感染症局所等の触診について学ぶ。<br>3)手術見学：耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の手術を見学する。手洗い、簡単な手術助手も含む。<br>4)睡眠時呼吸障害の患者に対し、ＰＳＧ（終夜脳波)、薬物睡眠下内視鏡検査等の実際につき指導医と伴に学ぶ。<br><br>第２～６週目：手術症例を中心に、指導主治医とともに患者を担当し、術前、実際の手術時、術後における医師としてすべき事柄について学ぶ。実際の手術への参入も含む。<br>また、外来担当医の助手として、外来患者についても実際に診察、診断し、外来担当医と症例につき討議する。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 災害・外傷外科 |
| 責　任　者 | 平川昭彦 |
| 受入学生数 | ２名 |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | １.病棟<br>受け持ち患者さんを中心に診療に参加する。病棟回診につく。毎朝の救命 ICU カンファレンスおよび外傷カンファレンスに出席し、最終日には担当患者のプレゼンテーションを行う。他科との連携を含めた治療を計画する。<br>２.ER<br>外傷患者が ER 室に搬送されたらただちに向かい、心肺蘇生などを手伝う。緊急度の高いものは何か・何を為すべきか（診断・治療）を現場で考える。<br>救急隊よりラピッドカーの要請があれば、医師と同乗しプレホスピタル医療を学習する。<br>３.手術<br>手術には積極的に参加する。<br>４.X 線、CT の読み方の指導を受け国試に役立てる。<br>５.災害医療に関しての基礎的な知識を身につける。<br>６.その他<br>災害・外傷外科実習期間中に、他科とのカンファレンスや研究会があれば参加し、高度な知識も学ぶ。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 麻酔・侵襲制御医学 |
| 責　任　者 | 西田　修 |
| 受入学生数 | 同一期間に９名程度まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | 麻酔科学とは侵襲制御の学問であり、麻酔行為自体も、血管確保、気道確保から始まり、体液・輸液管理、患者の状態に合わせた呼吸・循環管理などの高度な全身管理に至るまで、ライフサポートのエッセンスに満ちています。麻酔科をじっくりと研修することは、将来医師として働いていく上で最低限必要な全身管理の基本的考え方を学ぶことのできる、この上ない良い機会となるでしょう。<br>選択制総合医学では、指導医と行動を共にし、侵襲制御医学の基本から学び、全身管理における基本的な物の考え方と危機管理の姿勢を学びます。コースは、学生の希望に応じアレンジします。重症患者の全身管理を主体に学びたい場合は、ICU での実習を主体に行い、術中全身管理（麻酔）も含めて学びたい場合は、手術室での実習も含めて行います。輸液、電解質、酸塩基平衡、栄養管理、凝固・線溶、人工呼吸管理、敗血症の病態、急性血液浄化、循環管理の基本などを、実習以外と講義を交えて立体的に学べます。<br>【医局からのメッセージ】<br>当教室は、情熱にあふれた若い医局員の先生を中心とする活気に満ちた、明るい医局です。いろんな相談にものっています。実習以外にも気軽に遊びに来てください。学生指導には教員の手間も時間もかかりますが、教育を通しての啓発活動が私たちの良き理解者を増やし、自分たちの働きやすい環境となって還元されると信じています。積極的な学生の参加を待っています。 |

| 講　座　名 | 麻酔・疼痛制御学（第二教育病院） |
|---|---|
| 責　任　者 | 角渕　浩央 |
| 受入学生数 | 一期間に２名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | レクチャー、術前回診、術中管理への参加、自己学習により以下の目的を果たす。<br><br>目的<br>麻酔、術中管理の基本（主に呼吸、循環）を理解し、急性期医療に必要な基礎知識を習得する。<br><br>①　呼吸、循環生理の基礎知識の理解、習得<br>呼吸管理　酸素投与、気道確保法、人工呼吸<br>循環管理　輸液、輸血（種類、投与基準等）血管作動薬　中心静脈圧、動脈圧、心拍出量<br>②　麻酔の基礎知識の理解、習得<br>麻酔（鎮痛、鎮静、筋弛緩）<br>麻酔法（全身麻酔、局所麻酔）<br>薬剤（鎮静薬、麻薬、筋弛緩薬、吸入麻酔薬、局所麻酔薬）<br><br>疼痛管理（外来、入院）治療への参加は、学生の希望により適宜対応します。<br><br>参考図書：麻酔のコツとポイント　克誠堂 |

| 講　座　名 | 病理診断科Ⅰ |
|---|---|
| 責　任　者 | 黒田　誠 |
| 受入学生数 | 1名 |
| 実 習 期 間 | 3週間 |
| 実 習 内 容 | 病理専門医の指導の下に、<br><br>1）興味のある臓器、疾患について集中的に学習し、組織診、細胞診を経験する。<br>2）病理解剖に参加し、最終診断までの一連の流れ（肉眼診断、切り出し、特殊染色、免疫染色の意義、診断書作成）について経験、学習する。<br>3）臨床各科とのカンファレンス、CPC、キャンサーボードに参加する。 |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 病理診断科Ⅱ（第二教育病院） |
| 責　任　者 | 稲田健一 |
| 受入学生数 | 1ないし2名 |
| 実習期間 | 6週間コース，分割（3週間）コースどちらでも可 |
| 実習内容 | 1．病理組織標本の作製と診断の流れを体験し，臨床現場における病理診断の役割を理解するとともに，日常的によく遭遇する検体（消化管，呼吸器，婦人科疾患など）の病理所見に関する基礎的な知識を習得する．具体的には以下の項目があげられる．<br>1）病理検体の切り出し<br>2）ブロック作製<br>3）標本の薄切と染色<br>4）鏡顕と診断，報告書作成<br><br>2．細胞診検体に関しても，基礎的な知識（検体処理，鏡顕，診断など）の習得を行う．<br>3．病理解剖があれば見学し，全身検索による個々の病変の認識を通じ，死因に関して総合的に考察する．<br>4．希望があれば検体からのDNA抽出，PCRを用いた解析など分子生物学的手法にもふれ，疾患の病態把握や治療の選択における遺伝子の意義など，最新の知識についても学ぶ． |

| | |
|---|---|
| 講　座　名 | 七栗記念病院<br>（リハビリテーション医学 II、外科・緩和医療学、内科） |
| 責　任　者 | 園田　茂（リハビリ・全体統括)、東口髙志（外科・緩和医療学)、脇田英明(内科) |
| 受入学生数 | リハビリ:３名まで、外科・緩和医療学:３名まで、内科:１名まで |
| 実 習 期 間 | ６週間コース、分割（３週間）コースどちらでも可 |
| 実 習 内 容 | ◆リハビリテーション医学 II<br>リハビリ科の主治医とともに臨床に参画し、高齢者医療で必須となる障害者の診かた、リハビリ処方のエッセンスを身につけます。<br>・治療計画、処方、入院医療管理を上級医と一緒に行います。<br>・評価（歩行､ADL､嚥下､筋電図など）を体得してもらいます。<br>・脳卒中や脊髄損傷などに関して多面的に学びます。<br>1 週間のポリクリでは感じにくかった患者の状態の変化やリハビリ医の必要性がわかるようになります。<br><br>◆外科・緩和医療学<br>緩和ケア病棟および一般外科病棟での医療に参加します。<br>・緩和ケア病棟で医療チームの一員として疼痛管理や心のケアなどの臨床を体験します。<br>・最近脚光を浴びている“Nutrition Support team (NST：栄養サポートチーム)”の一員としてミーティングやラウンドに参加していただきます。<br>・一般外科・消化器外科の手術や周術期管理などにも実際に参加することができます。<br>・現在、わが国で最も求められている医療のひとつである“がん治療における代謝学的アプローチ”についても修得いただけます。<br><br>◆内科<br>目標：卒前臨床実習が効果的・網羅的に実践されるために、第１教育病院では経験できない地域包括的な高齢者医療､認知症医療に参加し、基本的臨床能力を修得します。<br>・ 指導医のもとで高齢者医療、認知症医療の臨床を体験します。<br>・ コメディカルスタッフとともに高齢者、認知症患者のケアの実践を体験し、内科入院症例のリハビリテーション医療にリハビリチームと行動をともにする事で理解を深めます。<br>・ 高齢者医療、認知症医療の勉強会に参加します。<br>・ 高齢者医療、認知症医療における地域、家族の役割を理解 |

| | |
|---|---|
| | するために家族との話し合いやケアマネージャー、看護職とのミーティングに参加します。<br>◆七栗記念病院（ミックス）<br>上記の３科を混ぜて七栗で学習できるコースです。<br>・希望者の要望に合わせて園田がコーディネートします。 |